SONY®

MPEG TS BOARD

PDBK-202

日本語


電気製品は、安全のための注意事項を守らないと、火災や人身事故になることがあります。

- ご使用にあたっては、PDW-HR1 または XDS シリーズ機器に付属のオペレーションマニュアルの「安全のために」をよくお読みください。
- 本機を誤って装着すると、火災・感電やその他の事故により、けがをしたり周辺の物品に損害を与えたりすることがあります。危険を避けるため、装着はサービストレーニングを受けた技術者にご依頼ください。
- このオペレーションアンドインストレーションガイドには、事故を防ぐための重要な注意事項と製品の取り扱いかたを示してあります。このオペレーションアンドインストレーションガイドをよくお読みのうえ、製品を安全にお使いください。お読みになったあとは、いつでも見られるところに必ず保管してください。

本機を装着する技術者へ

装着のしかたは、本機に付属のインストレーションマニュアルを必ずお読みください。

ご注意

本機を取り付けるときは、必ず PDW-HR1 または XDS シリーズ機器の電源をお切りください。

XDCAM™

OPERATION AND INSTALLATION GUIDE

Japanese/English/French/German/Italian/Spanish/Chinese

1st Edition (Revised 3)

Sony Corporation



http://www.sony.net/

PDBK-202 (SYM)
4-135-255-**04** (1)

この説明書は、再生紙を使用しています。
Printed on recycled paper.

Printed in Japan
2011.07 32

概要

MPEG TS ボード PDBK-202（以下「本基板」）は、ソニープロフェッショナルディスクフィールドステーション PDW-HR1 または XDS シリーズ プロフェッショナルメディアステーションに装着して使用するオプション基板です。
本基板の主な特長は以下のとおりです。

本基板を PDW-HR1 に装着すると、HDV [1] 1080i [2] フォーマット互換の MPEG TS [3] 信号（IEEE1394 準拠、インターレース方式およびプログレッシブ方式）を入力して XDCAM プロフェッショナルディスクに記録することができます。また、ディスクを再生して HDV 1080i フォーマット互換の MPEG TS 信号（IEEE 1394 準拠、インターレース方式およびプログレッシブ方式）および DVB-ASI TS 信号を出力することができます。
本基板を XDS シリーズ機器に装着すると、DVB-ASI TS 信号を入力または出力することができます。

ご注意

XDS シリーズ機器は、i.LINK には対応していません。

1) HDV および HDV はソニー株式会社と日本ビクター株式会社の商標です。
2) HDV 1080i：DV テープを用いた HD 記録フォーマット「HDV 1080i 規格」に準拠した HD 機器。HDV 1080/59.94i、1080/29.97P および HDV 1080/50i、1080/25P に対応。
3) MPEG TS：MPEG-2 トランスポートストリーム。MPEG ビデオ、MPEG オーディオ、制御信号などが含まれる。HDV 機器の標準インターフェース。

取り扱いおよび操作に関する情報について

装着機器のオペレーションマニュアル（日本語）をご覧ください。
PDW-HR1：1st Edition
XDS-1000：1st Edition (Revised 1)
XDS-PD1000/PD2000：1st Edition

以下は、本基板を PDW-HR1 または XDS シリーズ機器に装着した場合の上記マニュアルに対する補足説明です。

PDW-HR1 のみ

ご注意

- 本基板では、DV 信号の記録はできません。
- ビデオフォーマットとして 720P を選択したときは、i.LINK（TS）は出力されません。
- ノンリニア編集機で編集した素材をPDW-HR1のディスクに書き戻すには、ファンクションメニュー HOME ページの F2：PB/EE を「EE」に設定してください。
- PDW-HR1からノンリニア編集機に素材をアップロードするときは、ファンクションメニュー HOME ページの F2:PB/EE を「PB」に設定してください。

ソフトウェアバージョンの確認

PDW-HR1 のソフトウェアバージョンが 2.0 以上、XDS シリーズ機器のソフトウェアバージョンが 1.1 以上であることを確認します。

◆ ソフトウェアバージョンは、メンテナンスメニュー項目 M30: SOFTWARE VERSION で確認することができます。詳しくは、装着機器のオペレーションマニュアルの「メンテナンスメニュー」をご覧ください。

本基板と装着機器のソフトウェアバージョンが適合しないときは

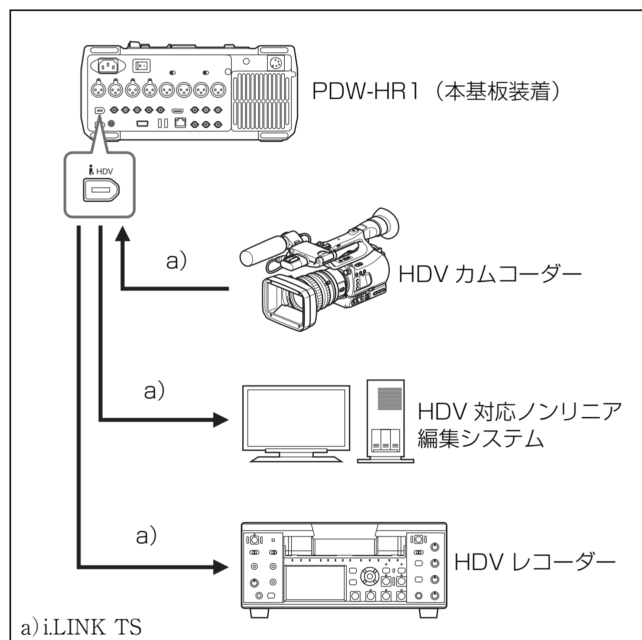
本基板を装着した直後に装着機器の電源を入れると、エラーコード「ERROR 95-119」または「ERROR 95-419」が表示されることがありますが、故障ではありません。
本基板を装着した状態で、装着機器を最新のソフトウェアパッケージのバージョンにアップデートしてください。
装着機器とともに本基板も自動的に最新バージョンにアップデートされます。

◆ ソフトウェアのアップデートについて詳しくは、ソニーのサービス担当者または営業担当者にお問い合わせください。

使用例

本基板の使用例を下図に示します。

i.LINK TS 入／出力の使用例（PDW-HR1 のみ）



a) i.LINK TS

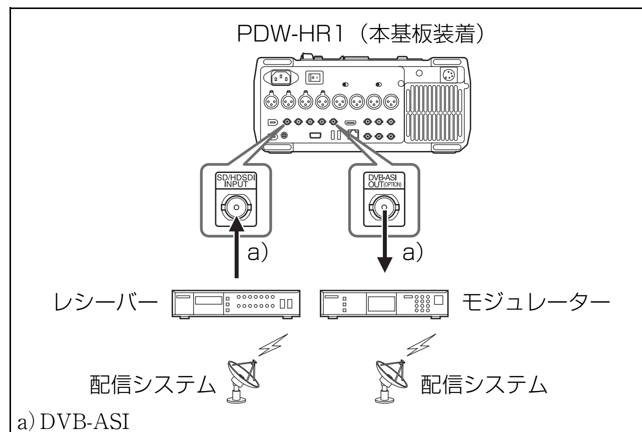
ご注意

HDV カムコーダーまたは HDV レコーダーを i.LINK ケーブルで接続するときは、あらかじめ i.LINK 入／出力設定を HDV にしてください。

◆ 詳しくは、HDV カムコーダーまたは HDV レコーダーに付属の取扱説明書をご覧ください。

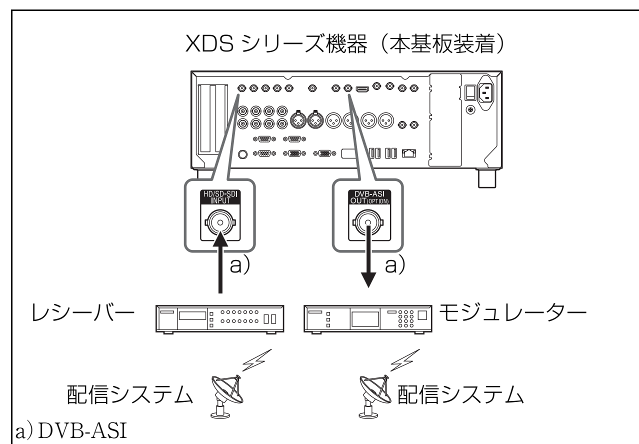
DVB-ASI 入／出力の使用例

PDW-HR1 の場合



a) DVB-ASI

XDS シリーズ機器の場合



a) DVB-ASI

DVB-ASI TS 信号を入力するには

装着機器の DVB-ASI TS 信号入力端子を使用します（前図参照）。

PDW-HR1：SD/HDSDI INPUT 端子
XDS シリーズ機器：HD/SD-SDI INPUT 端子

入力可能な DVB-ASI TS 信号（PDW-HR1 のみ）

MPEG-2 トランスポートストリーム伝送をサポートしている XDCAM のオプション機器（HDCA-702 など）から出力される DVB-ASI TS 信号に限られます。

メニュー設定

以下の項目を設定します。

- **PDW-HR1 の場合**

項目	設定値
ファンクションメニューP1 VIDEO ページの V INPUT	DVB-ASI
セットアップメニュー項目 926 のサブ項目 TS i.LINK MODE	**HDV**：PROGRAM NUMBER の設定値を「00100」（工場出荷時の設定）にする。 **Manual**：PROGRAM NUMBER で任意のプログラム番号を指定できる。 **ご注意** 720P システムでは、本項目は表示されません。
セットアップメニュー項目 926 のサブ項目 PROGRAM NUMBER	TS i.LINK MODE を「Manual」に設定して、プログラム番号（1 ～ 65535（FFFFh））を指定する。

- **XDS シリーズ機器の場合**

項目	設定値
ファンクションメニューP1 INPUT ページの F2：V INPUT	DVB-ASI

JP

項目	設定値
セットアップメニュー項目926のサブ項目I/O MODE	DVB-ASIの入出力を設定する。 **input [in]**：入力モード固定 **output [out]**：出力モード固定
セットアップメニュー項目926のサブ項目TS MODE	TSモードを選択する（59.94i/29.97P/50i/25Pモード時のみ）。 **HDV**：HDVモード **Manual [manu]**：エンコードレートモード
セットアップメニュー項目926のサブ項目PROGRAM NUMBER	TS MODEを「Manual」に設定して、プログラム番号（10進数）を指定する。

• ファンクションメニューP1 VIDEOページのV INPUTを「DVB-ASI」に設定すると、P2 AUDIOページのA1 INPUT ～ A4 INPUTは自動的に「DVB-ASI」に設定されます。
• セットアップメニュー項目926のサブ項目PROGRAM NUMBERでプログラム番号を指定することによって、複数のプログラムが多重されたDVB-ASI TS信号から特定の1つのプログラムを選択して受信することができます。

DVB-ASI TS信号に重畳されたメタデータを利用するには

メタデータの種類に応じて次表のように設定します。

メタデータの種類	設定
タイムコード／ユーザービット	**PDW-HR1の場合** **INT/EXT/SDIスイッチ**：EXTまたはSDI 装着機器の内蔵タイムコードジェネレーターは、TS信号に含まれるタイムコードデータに同期します。
	XDSシリーズの場合 ファンクションメニューP4 TCページのTCGで「EXT」または「SDI」を選択すると、内蔵タイムコードジェネレーターはTS信号に含まれるタイムコードデータに同期します。
エッセンスマーク	特別な設定をすることなく、自動的に記録されます。 PDW-HR1の場合、エッセンスマークが設定されたフレームを確認するには、チャプターサムネイル画面を表示します。
クリップ名（PDW-HR1のみ）	**セットアップメニュー項目036のサブ項目 AUTO NAMING**：ext 記録開始時点のTS信号上のクリップ名が記録されます。記録中にTS信号上でクリップ名が変更されても、クリップ名の変更は反映されません。
UMID	特別な設定をすることなく、自動的に記録されます。

ご注意

前記のメタデータのうち、エッセンスマーク情報はクリップ名情報よりも優先的に伝送されます。伝送されるエッセンスマーク情報が多すぎると、クリップ名情報の伝送に時間がかかることがあります。

DVB-ASI TS信号を出力するには

PDW-HR1の場合は、PDW-HR1を再生モードにします。
XDSシリーズ機器の場合は、セットアップメニュー項目926 DVB-ASI SETTINGのI/O MODEで「output」を選択します。

DVB-ASI TS出力信号にメタデータを重畳するには

セットアップメニュー項目926のサブ項目META PACKET OUTを「on」に設定します。
1倍速再生時、ディスクに記録されているメタデータが映像・音声データに同期して伝送されます。
静止画・可変速再生時は、タイムコードデータのみが伝送されます。他のメタデータは伝送されません。

ご注意

PDW-HR1の場合、セットアップメニュー926のサブ項目TS i.LINK MODEを「HDV」に設定すると、タイムコードデータ以外のメタデータは伝送されません。
XDSシリーズ機器の場合、セットアップメニュー926のサブ項目TS MODEを「HDV」に設定すると、タイムコードデータ以外のメタデータは伝送されません。

追加されるファンクションメニューの設定内容

PDW-HR1 の場合

本基板を PDW-HR1 に装着すると、以下の表に下線で示す設定内容が追加されます。

◆ ファンクションメニューの操作方法については、PDW-HR1 のオペレーションマニュアル「第 3 章　準備」をご覧ください。

P1 VIDEO ページ

設定項目	設定内容
F1：V INPUT	ビデオ入力信号を選択する。 **HDSDI**：HDSDI 信号 **SDSDI**：SDSDI 信号 **CMPST**：コンポジット信号 **i.LINK**：i.LINK 信号 **DVB-ASI**：DVB-ASI 信号 **SG**：内部信号発生器からのテスト信号

ご注意

- 「i.LINK」を選択した場合、PDW-HR1 の E-E モード時の HDSDI 出力 /SDSDI 出力は保証されません。REC または E-E モード時に DVB-ASI TS 信号は出力されません。
- 「DVB-ASI」を選択した場合、PDW-HR1 の動作モードにかかわらず、DVB-ASI TS 信号および i.LINK TS 信号は出力されません。

P2 AUDIO ページ

<table>
<tr><th>設定項目</th><th colspan="2">設定内容</th></tr>
<tr><td rowspan="6">F1：AU INPUT</td><td colspan="2">オーディオチャンネル 1 ～ 8 に割り当てるオーディオ入力信号を選択する。
SDI：SDI 信号に重畳されたオーディオ信号
ANALOG1：アナログ 1 のオーディオ信号
SG：内部信号発生器からのテスト信号
i.LINK：i.LINK 信号
DVB-ASI：DVB-ASI 信号</td></tr>
<tr><td colspan="2">サブ項目</td></tr>
<tr><td>F1：A1 INPUT（A5 INPUT）</td><td>チャンネル 1（5）の入力信号</td></tr>
<tr><td>F2：A2 INPUT（A6 INPUT）</td><td>チャンネル 2（6）の入力信号</td></tr>
<tr><td>F3：A3 INPUT（A7 INPUT）</td><td>チャンネル 3（7）の入力信号</td></tr>
<tr><td>F4：A4 INPUT（A8 INPUT）</td><td>チャンネル 4（8）の入力信号</td></tr>
</table>

ご注意

ファンクションメニュー P1 VIDEO ページの V INPUT を「i.LINK」または「DVB-ASI」に設定すると、P2 AUDIO ページの A1 INPUT ～ A4 INPUT は自動的に「i.LINK」または「DVB-ASI」に設定されます。また、ビデオ入力信号と異なる種類のオーディオ入力信号を設定することはできません。

XDS シリーズ機器の場合

本基板を XDS シリーズ機器に装着すると、メンテナンスメニュー M22：OPTION SETTING の DVB-ASI を「on」に設定している場合は、ファンクションメニュー P1 INPUT ページと P2 INPUT ページに「DVB-ASI」の表示が追加されます。「i.LINK」は表示されません。

◆ XDS シリーズ機器について詳しくは、XDS シリーズ機器に付属のオペレーションマニュアルの「ファンクションメニューの基本操作」をご覧ください。

追加されるセットアップメニュー項目

PDW-HR1 の場合

本基板を PDW-HR1 に装着すると、以下の項目が追加されます。（項目 036 FILE NAMING の場合は、サブ項目 AUTO NAMING に設定値「ext」が追加されます。）
下線の設定が、工場出荷時の設定です。

◆ セットアップメニューの操作方法については、PDW-HR1 のオペレーションマニュアル「第 8 章　メニュー」をご覧ください。

項目番号	項目名	設定
036	FILE NAMING サブ項目	クリップおよびクリップリストについて、任意の名前を付けたファイルの使用を可能にするかどうかを設定する。
	2 AUTO NAMING	サブ項目「NAMING FORM」で「free」を選択したとき、クリップ名として何を使用するかを指定する。 **ext**：DVB-ASI 信号上のクリップ名
831	TS OUT AUDIO MODE	DVB-ASI TS 信号および i.LINK TS（HDV）信号のオーディオ出力チャンネル数を設定する。 **2ch**：2 チャンネル **4ch**：4 チャンネル
926	DVB-ASI SETTING サブ項目	DVB-ASI 出力の各種パラメーターの設定、および DVB-ASI 信号入力時の受信プログラム番号の指定を行う。
	1 TS i.LINK MODE	TS i.LINK モードを選択する。 **HDV**：HDV モード 本モードを選択すると「Manual」は無効になります。 **Manual**：エンコードレートモード **720P 使用時のご注意** • 本項目は表示されません。 • (i.LINK) HDV TS 端子からは信号が出力されません。
	2 ENC RATE (Mbps)	エンコードレートを設定する。 **25.00**：エンコードレートを設定する。 **- - -**：メニュー項目 926 のサブ項目 TS i.LINK MODE が「HDV」に設定されている場合。 15.00Mbps ～ 43.25Mbps の範囲から 0.01Mbps 単位または 0.20Mbps 単位（SHIFT ボタン併用時）で設定できます。
926	3 RESOLUTION	1080i での水平画素数を選択する。 **1440**：1440 メニュー項目 926 のサブ項目 TS i.LINK MODE を「HDV」に設定すると、「1440」に固定されます。 **1920**：1920 エンコードレートが 35.00Mbps 以上で 1920 を選択できます。 **ご注意** 720P 使用時に本項目は表示されません。
	4 PROGRAM NUMBER	DVB-ASI 入／出力信号のプログラム番号を指定する。 **00100**：プログラム番号（1 ～ 65535（FFFFh））を設定する。 **- - -**：メニュー項目 926 のサブ項目 TS i.LINK MODE が「HDV」に設定されている場合。 1 単位または 200 単位（SHIFT ボタン併用時）で設定できます。
	5 OUTPUT MODE	伝送モードを選択する。 **Packt**：パケットモード **Burst**：バーストモード
	6 PACKET LENGTH	パケット長を選択する。 **188 Byte**：188 バイト **204 Byte**：204 バイト
	7 META PACKET OUT	DVB-ASI 信号のメタデータパケットの出力を設定する。 **off**：メタデータパケットを出力しない。 **on**：メタデータパケットを出力する。 **- - -**：メニュー項目 926 のサブ項目 TS i.LINK MODE が「HDV」に設定されている場合。
	8 PID(PMT)	DVB-ASI 出力時の PMT パケットの PID 値を変更する。 **0081h**：PID 値を設定する。 **- - -**：メニュー項目 926 のサブ項目 TS i.LINK MODE が「HDV」に設定されている場合。 0030h ～ 1FFEh の範囲から 1h 単位または 20h 単位（SHIFT ボタン併用時）で設定できます。 **ご注意** 他の PID 値と同じ値を設定しないでください。

項目番号	項目名		設定
926	9	PID(PCR)	DVB-ASI 出力時の PCR パケットの PID 値を変更する。 0134h：PID 値を設定する。 - - -：メニュー項目 926 のサブ項目 TS i.LINK MODE が「HDV」に設定されている場合。 0030h ～ 1FFEh の範囲から 1h 単位または 20h 単位（SHIFT ボタン併用時）で設定できます。 **ご注意** 他の PID 値と同じ値を設定しないでください。
	10	PID(VIDEO)	DVB-ASI 出力時の VIDEO パケットの PID 値を変更する。 0810h：PID 値を設定する。 - - -：メニュー項目 926 のサブ項目 TS i.LINK MODE が「HDV」に設定されている場合。 0030h ～ 1FFEh の範囲から 1h 単位または 20h 単位（SHIFT ボタン併用時）で設定できます。 **ご注意** 他の PID 値と同じ値を設定しないでください。
	11	PID(AUDIO)	DVB-ASI 出力時の AUDIO パケットの PID 値を変更する。 0814h：PID 値を設定する。 - - -：メニュー項目 926 のサブ項目 TS i.LINK MODE が「HDV」に設定されている場合。 0030h ～ 1FFEh の範囲から 1h 単位または 20h 単位（SHIFT ボタン併用時）で設定できます。 **ご注意** 他の PID 値と同じ値を設定しないでください。
	12	PID(AUX1)	DVB-ASI 出力時の AUX1 パケットの PID 値を変更する。 0815h：PID 値を設定する。 - - -：メニュー項目 926 のサブ項目 TS i.LINK MODE が「HDV」に設定されている場合。 0030h ～ 1FFEh の範囲から 1h 単位または 20h 単位（SHIFT ボタン併用時）で設定できます。 **ご注意** 他の PID 値と同じ値を設定しないでください。

項目番号	項目名		設定
926	13	PID(AUX2)	DVB-ASI 出力時の AUX2 パケットの PID 値を変更する。 0811h：PID 値を設定する。 - - -：メニュー項目 926 のサブ項目 TS i.LINK MODE が「HDV」に設定されている場合。 0030h ～ 1FFEh の範囲から 1h 単位または 20h 単位（SHIFT ボタン併用時）で設定できます。 **ご注意** 他の PID 値と同じ値を設定しないでください。

XDS シリーズ機器の場合

本基板を XDS シリーズ機器に装着すると、メニュー項目 831 TS OUT AUDIO MODE と、メニュー項目 926 DVB-ASI SETTING が追加されます。なお、メニュー項目 036 は追加されません。

◆ XDS シリーズ機器について詳しくは、XDS シリーズ機器に付属のオペレーションマニュアルの「セットアップメニュー」をご覧ください。

i.LINK 接続についてのご注意（PDW-HR1 のみ）

- i.LINKケーブルを使ってPDW-HR1にコンピューターなどを接続するときは、端子の向きを確認してください。端子と i.LINK ケーブルコネクターの向きが逆になっている状態で無理に押し込むと、端子が破損することがあります。また、PDW-HR1 の故障の原因となります。
- i.LINK ケーブルは、先にコンピューターに接続してから PDW-HR1 に接続してください。先に PDW-HR1 に接続すると、静電気が発生して PDW-HR1 の故障の原因となります。
- i.LINK端子を持つ機器とPDW-HR1をi.LINKケーブルで接続し、i.LINK ケーブルを抜き差しするときは、あらかじめ機器の電源スイッチをオフにし、電源プラグを電源から抜いてください。電源プラグを電源に接続したまま i.LINK ケーブルを抜き差しすると、機器の i.LINK 端子から出力されている高圧電流が PDW-HR1 に流れ込み、PDW-HR1 の故障の原因となるおそれがあります。
- 複数の i.LINK 端子を持つ機器（i.LINK インターフェースカードを搭載したコンピューターなど）を接続する場合、PDW-HR1 を 1 つの端子に接続した状態で他の端子に後から外部ハードディスクユニットなどを接続すると、PDW-HR1 に高圧電流が流れ込み、PDW-HR1 の故障の原因となるおそれがあります。
  コンピューターなどの周辺機器、PDW-HR1、および後から接続する機器の電源スイッチをすべてオフにし、電源プラグをすべて電源から抜いた状態で、i.LINK ケーブルを接続してください。
- PDW-HR1 の電源スイッチをオン／オフするときは、あらかじめ i.LINK 接続している機器の動作を停止してください。
- PDW-HR1 の電源スイッチをオンにしても MPEG TS 信号の送受信が行われない場合は、PDW-HR1 の電源スイッチをいったんオフにして再度オンにしてください。

仕様

一般

電源電圧、消費電流
+ 5.8V、0.1A
+ 3.3V、0.7A
+ 2.5V、0.5A
（電源は装着機器から供給）

外形寸法（幅／高さ）
102 × 86mm

質量 約 54g

ストリームフォーマット

ビデオコーデック

DVB-ASI	MPEG-2 MP@HL
	MPEG-2 MP@H-14
i.LINK	MPEG-2 MP@H-14

ビデオ解像度／システム周波数

1440 × 1080	59.94i、50i、29.97P、25P
1920 × 1080	59.94i、50i、29.97P、25P
1280 × 720	59.94P、50P

ビットレート選択範囲

15.00Mbps 〜 43.25Mbps（0.01Mbps ステップ）

オーディオ

MPEG-1 Layer 2
2 チャンネル、48kHz、384kbps

MPEG-2 Layer 2
4 チャンネル、48kHz、384kbps

付属品

取り付けネジ（4）
オペレーションアンドインストレーションガイド（1）
インストレーションマニュアル（1）

仕様および外観は、改良のため予告なく変更することがありますが、ご了承ください。

お使いになる前に、必ず動作確認を行ってください。故障その他に伴う営業上の機会損失等は保証期間中および保証期間経過後にかかわらず、補償はいたしかねますのでご了承ください。

English

Before operating the unit, please read this manual thoroughly and retain it for future reference.

For the customers in Europe

This product with the CE marking complies with the EMC Directive issued by the Commission of the European Community.
Compliance with this directive implies conformity to the following European standards:
- EN55103-1: Electromagnetic Interference (Emission)
- EN55103-2: Electromagnetic Susceptibility (Immunity)

This product is intended for use in the following Electromagnetic Environments: E1 (residential), E2 (commercial and light industrial), E3 (urban outdoors), E4 (controlled EMC environment, ex. TV studio).

The manufacturer of this product is Sony Corporation, 1-7-1 Konan, Minato-ku, Tokyo, Japan.
The Authorized Representative for EMC and product safety is Sony Deutschland GmbH, Hedelfinger Strasse 61, 70327 Stuttgart, Germany.

Інформація для споживачів в Україні.

Обладнання відповідає вимогам:
– Технічного регламенту обмеження використання деяких небезпечних речовин в електричному та електронному обладнанні (постанова КМУ від 03/12/2008 № 1057).

Precautions

If this unit is installed incorrectly, personal injury or damage to peripheral items may occur due to fire, shock, or other accidental circumstances. To avoid such risks, installation should be performed by trained service technicians.

To the technician installing the unit

Please refer to the INSTALLATION MANUAL supplied with this unit for installation instructions.

Note

Be sure to power off the PDW-HR1 or XDS Series device before installing this board.

GB

Overview

The PDBK-202 MPEG TS Board (called "this board" in the following) is an option board for installation in the Sony PDW-HR1 Professional Disc Field Station or XDS Series Professional Media Station.
The principal features of this board are as follows.

When this board is installed in the PDW-HR1, you can input MPEG TS [1)] signals (IEEE 1394 compliant, interlace or progressive scan) compatible with the HDV [2)] 1080i [3)] format, and record these signals on XDCAM Professional Disc.
You can also play back XDCAM Professional Disc and output MPEG TS signals (IEEE 1394 compliant, interlace or progressive scan) compatible with the HDV 1080i format and DVB-ASI TS signals.
Installing this board in an XDS Series device allows DVB-ASI TS signals to be input to / output from the device.

Note

XDS Series devices do not support i.LINK.

1) MPEG TS: MPEG-2 transport streams containing MPEG video, MPEG audio, and control information. This is the standard interface for HDV equipment.
2) HDV and HDV are trademarks of Sony Corporation and Victor Company of Japan, Limited.
3) HDV 1080i: Refers to devices compliant with the "HDV 1080i Standard" for recording HD signals on DV tape. Supports HDV 1080/59.94i or 1080/29.97P and HDV 1080/50i or 1080/25P.

About operating instructions

Refer to the Operation Manual for the device in which you install this board (called "the target device" in the following).
PDW-HR1: 1st Edition
XDS-1000: 1st Edition (Revised 1)
XDS-PD1000/PD2000: 1st Edition

The following is supplementary information to be added to the above manual when this board has been installed in the PDW-HR1 or XDS series device.

When the target device is the PDW-HR1

Notes

- This board cannot record DV signals.
- i.LINK (TS) is not output when the video format is 720P.
- If, after editing material with a nonlinear editor connected to the PDW-HR1, you want to write the material back to a PDW-HR1 disc, then set F2: PB/EE on the HOME page of the function menu to "EE".
- To upload materials from the PDW-HR1 to a nonlinear editor, set F2: PB/EE on the HOME page of the function menu to "PB".

Checking software versions

Check to be sure that the software version of the PDW-HR1 is 2.0 or higher and that the software version of the XDS Series device is 1.1 or higher.

You can check the software versions with maintenance menu item M30: SOFTWARE VERSION. For details, refer to "Maintenance Menu" in the target device Operation Manual.

If the software versions of this board and the target device do not match

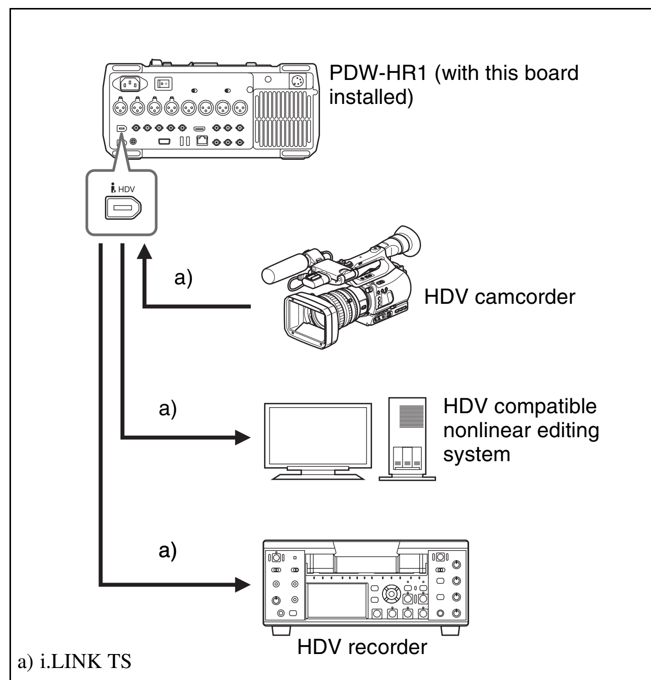
When you power on the target device immediately after installing this board, the error code "ERROR 95-119" or "ERROR 95-419" may appear. This is not a malfunction. Carry out the procedure for updating the target device to the latest version of the software package with this board installed in the device.
This updates both the target device and this board.

For more information about updating the software, contact your Sony dealer or a Sony service representative.

System Configuration Examples

The following figures show examples of systems.

Examples of i.LINK TS input/output usage (PDW-HR1 only)



a) i.LINK TS

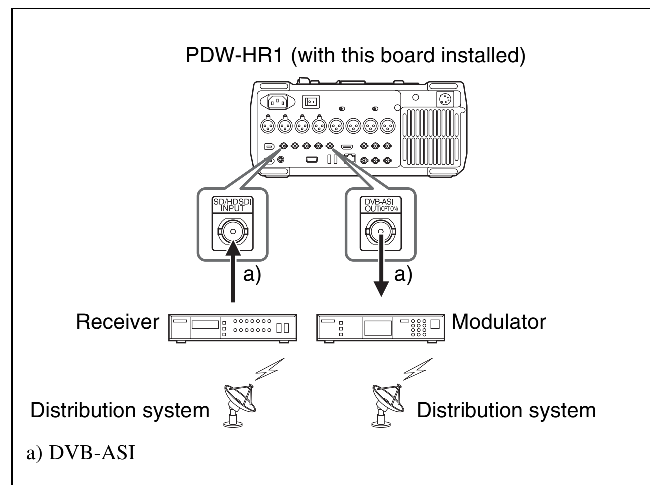
Note

Before connecting an HDV camcorder or an HDV recorder by an i.LINK cable, set up the camcorder or recorder to input/output HDV signals via the i.LINK interface.

For details about i.LINK interface settings, refer to the Operating Instructions for the HDV camcorder or HDV recorder.

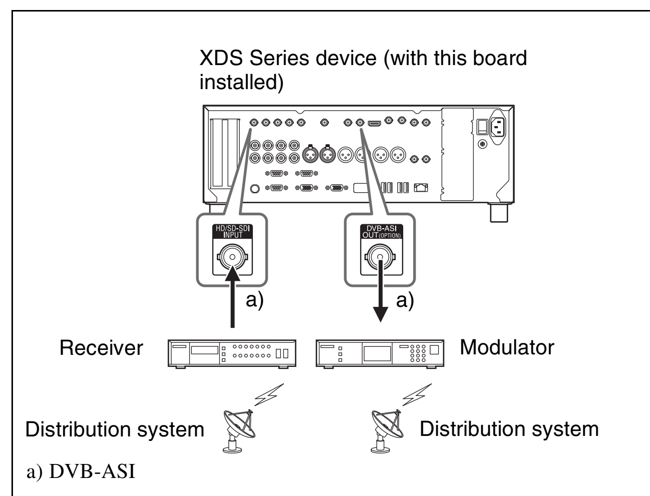
Examples of DVB-ASI input/output usage

When the target device is the PDW-HR1



a) DVB-ASI

When the target device is an XDS Series device



a) DVB-ASI

To input DVB-ASI TS signals

Use the DVB-ASI TS signal input connector on the target device *(see the previous figure).*

PDW-HR1: SD/HDSDI INPUT connector

XDS Series device: HD/SD-SDI INPUT connector

Supported DVB-ASI TS input signals (PDW-HR1 only)

Support is limited to DVB-ASI TS signals output by optional XDCAM devices (such as the HDCA-702) that support MPEG-2 transport stream transmission.

Menu settings

Set the following items.

When the target device is the PDW-HR1

Item	Setting
V INPUT on the P1 VIDEO page of the function menu	DVB-ASI
Sub-item TS i.LINK MODE of setup menu item 926	**HDV:** Set PROGRAM NUMBER to "00100" (factory default setting). **Manual:** You can set PROGRAM NUMBER to any program number. **Note** This item does not appear on 720P systems.
Sub-item PROGRAM NUMBER of setup menu item 926	Set TS i.LINK MODE to "Manual", and specify a program number (1 to 65535 (FFFFh)).

When the target device is an XDS Series device

Item	Setting
F2: V INPUT on the P1 INPUT page of the function menu	DVB-ASI
Sub-item I/O MODE of setup menu item 926	Set DVB-ASI input/output. **input [in]:** Fixedly input mode **output [out]:** Fixedly output mode
Sub-item TS MODE of setup menu item 926	Select the TS mode. (59.94i/29.97P/50i/25P mode only.) **HDV:** HDV mode **Manual [manu]:** Encoding rate mode
Sub-item PROGRAM NUMBER of setup menu item 926	Set TS MODE to "Manual" and specify a program number (decimal).

- If you set V INPUT on the P1 VIDEO page of the function menu to "DVB-ASI", then A1 INPUT to A4 INPUT on the P2 AUDIO page are also set automatically to "DVB-ASI".
- Specifying a program number with sub-item PROGRAM NUMBER of setup menu item 926 makes it possible to select and receive a specified program from DVB-ASI TS signals containing multiple multiplexed programs.

To use metadata multiplexed into DVB-ASI TS signals

Make the settings shown below, according to the type of metadata.

Metadata type	Setting
Timecode/user bits	**When the target device is the PDW-HR1** **INT/EXT/SDI switch:** EXT or SDI The internal timecode generator of the target device synchronizes to the timecode data contained in the TS signal.
	In the case of XDS Series device When TCG in the TC page of the function menu is set to "EXT" or "SDI", the internal timecode generator synchronizes to the timecode data contained in the TS signal.
Essence mark	These are recorded automatically, without any special settings. In the case of the PDW-HR1, to check for frames where essence marks are set, display the chapter thumbnail screen.
Clip name (PDW-HR1 only)	**Sub-item AUTO NAMING of setup menu item 036:** ext The clip name in TS signals at the recording start point is recorded. Even if the clip name in the TS signals is changed during recording, the change to the clip name is not reflected.
UMID	This is recorded automatically, without any special settings.

Note

Among the metadata types listed above, transmission of essence mark information is given priority over transmission of clip names. If there is too much essence mark information to transmit, some time may be required to transmit clip name information.

To output DVB-ASI TS signals

In the case of the PDW-HR1, put it into playback mode. In the case of an XDS Series device, set I/O MODE of the setup menu item 926 DVB-ASI SETTING to "output".

To multiplex metadata into DVB-ASI TS output signals

Set sub-item META PACKET OUT of setup menu item 926 to "on".
During normal speed playback, metadata recorded on the disc is transmitted at the same time as video and audio data.
During playback of still images and variable speed playback, only timecode is transmitted. Other metadata is not transmitted.

Note

In the case of the PDW-HR1, if the sub-item TS i.LINK MODE of the setup menu item 926 is set to "HDV", metadata other than timecode data is not transmitted.

In the case of an XDS Series device, if the sub-item TS MODE of the setup menu item 926 is set to "HDV", metadata other than timecode data is not transmitted.

Additional Function Menu Settings

When the target device is the PDW-HR1

When this board is installed in the PDW-HR1, the underlined settings in the following tables appear in the function menu.

For more information about function menu operations, refer to Chapter 3 "Preparations" in the PDW-HR1 Operation Manual.

P1 VIDEO page

Item	Setting
F1: V INPUT	Selects the video input signal. **HDSDI:** HDSDI signal **SDSDI:** SDSDI signal **CMPST:** Composite signal **i.LINK:** i.LINK signal **DVB-ASI:** DVB-ASI signal **SG:** Test signal from internal signal generator

Notes

- When "i.LINK" is selected, HDSDI output and SDSDI output in the PDW-HR1's E-E mode is not guaranteed. DVB-ASI TS signals are not output in the REC mode or E-E mode.
- If you select "DVB-ASI", then DVB-ASI TS signals and i.LINK TS signals are not output, regardless of the operating mode of the PDW-HR1.

P2 AUDIO page

<table>
<tr><th>Item</th><th colspan="2">Setting</th></tr>
<tr><td rowspan="6">F1: AU INPUT</td><td colspan="2">Selects the audio input signal to assign to audio channels 1 to 8.
SDI: Audio signal embedded into SDI signal
ANALOG1: Analog 1 audio signal
SG: Test signal from internal signal generator
i.LINK: i.LINK signal
DVB-ASI: DVB-ASI signal</td></tr>
<tr><td colspan="2">Sub-item</td></tr>
<tr><td>F1: A1 INPUT (A5 INPUT)</td><td>Input signal of audio channel 1 (5)</td></tr>
<tr><td>F2: A2 INPUT (A6 INPUT)</td><td>Input signal of audio channel 2 (6)</td></tr>
<tr><td>F3: A3 INPUT (A7 INPUT)</td><td>Input signal of audio channel 3 (7)</td></tr>
<tr><td>F4: A4 INPUT (A8 INPUT)</td><td>Input signal of audio channel 4 (8)</td></tr>
</table>

Note

If you set V INPUT on the P1 VIDEO page of the function menu to “i.LINK” or “DVB-ASI”, then A1 INPUT to A4 INPUT on the P2 AUDIO page are set automatically to “i.LINK” or “DVB-ASI”. Also, it is not possible to set audio input signals to a type that differs from the type of video input signals.

When the target device is an XDS Series device

When this board is installed in an XDS Series device and DVB-ASI of the maintenance menu M22: OPTION SETTING is set to “on”, “DVB-ASI” is added to the P1 INPUT page and P2 INPUT page of the function menu. “i.LINK” is not displayed.

For more information about the XDS Series device, refer to “Basic Operations of the Function Menu” in the Operation Manual supplied with the device.

Additional Setup Menu Items

When the target device is the PDW-HR1

When this board is installed in the PDW-HR1, the menu items shown in the following table appear in the setup menu. (The setting “ext” is added to the sub-item AUTO NAMING of menu item 036 FILE NAMING.)
In the “Settings” column of the table, the factory default setting is underlined.

For more information about setup menu operations, refer to Chapter 8 “Menus” in the PDW-HR1 Operation Manual.

Item number	Item name	Settings
036	FILE NAMING	Specifies whether to allow use of clip and clip list files with user-defined names.
	Sub-item	
	2 AUTO NAMING	When you select “free” for the “NAMING FORM” sub-item, allows you to specify what you want to use as the clip name. **ext:** Clip name in DVB-ASI signal
831	TS OUT AUDIO MODE	Selects the number of audio output channels for DVB-ASI TS and i.LINK TS (HDV) signals. **<u>2ch</u>:** 2 channels **4ch:** 4 channels
926	DVB-ASI SETTING	Sets the parameters for DVB-ASI output, and specifies the number of the program to receive when DVB-ASI signals are input.
	Sub-item	
	1 TS i.LINK MODE	Selects the TS i.LINK mode. **<u>HDV</u>:** HDV mode When this mode is selected, the “Manual” setting is disabled. **Manual:** Encoding rate mode **When the video format is 720P** • This item does not appear. • No signals are output from the (i.LINK) HDV TS connector.

Item number	Item name		Settings
926	2	ENC RATE (Mbps)	Sets the encoding rate. **25.00:** Sets the encoding rate. **---:** When sub item TS i.LINK MODE of menu item 926 is set to “HDV”. You can set this in units of 0.01 Mbps (or 0.20 Mbps when the SHIFT button is held down) over the range from 15.00 Mbps to 43.25 Mbps.
	3	RESOLUTION	Selects the number of horizontal pixels for the 1080i format. **1440:** 1440 When sub item TS i.LINK MODE of menu item 926 is set to “HDV”, this is fixed as “1440”. **1920:** 1920 The 1920 setting is enabled when the encoding rate is 35.00 Mbps or higher. **Note** This item does not appear when the video format is 720P.
	4	PROGRAM NUMBER	Specifies a DVB-ASI input/ output signal program number. **00100:** Sets the program number (1 to 65535 (FFFFh)). **---:** When sub item TS i.LINK MODE of menu item 926 is set to “HDV”. You can set this in units of 1 (or 200 when the SHIFT button is held down).
	5	OUTPUT MODE	Selects the transmission mode. **Packt:** Packet mode **Burst:** Burst mode
	6	PACKET LENGTH	Selects the packet length. **188 Byte:** 188 bytes **204 Byte:** 204 bytes
	7	META PACKET OUT	Specifies output of DVB-ASI signal metadata packets. **off:** Do not output metadata packets. **on:** Output metadata packets. **---:** When sub item TS i.LINK MODE of menu item 926 is set to “HDV”.

Item number	Item name		Settings
926	8	PID(PMT)	Changes the PMT packet PID value for DVB-ASI output. **0081h:** Set PID value. **---:** When sub item TS i.LINK MODE of menu item 926 is set to “HDV”. You can set the value over the range from 0030h to 1FFEh in 1h units (or 20h units when the SHIFT button is held down). **Note** Do not set the same PID value as other item.
	9	PID(PCR)	Changes the PCR packet PID value for DVB-ASI output. **0134h:** Set PID value. **---:** When sub item TS i.LINK MODE of menu item 926 is set to “HDV”. You can set the value over the range from 0030h to 1FFEh in 1h units (or 20h units, when the SHIFT button is held down). **Note** Do not set the same PID value as other item.
	10	PID(VIDEO)	Changes the VIDEO packet PID value for DVB-ASI output. **0810h:** Set PID value. **---:** When sub item TS i.LINK MODE of menu item 926 is set to “HDV”. You can set the value over the range from 0030h to 1FFEh in 1h units (or 20h units, when the SHIFT button is held down). **Note** Do not set the same PID value as other item.
	11	PID(AUDIO)	Changes the AUDIO packet PID value for DVB-ASI output. **0814h:** Set PID value. **---:** When sub item TS i.LINK MODE of menu item 926 is set to “HDV”. You can set the value over the range from 0030h to 1FFEh in 1h units (or 20h units, when the SHIFT button is held down). **Note** Do not set the same PID value as other item.

Item number	Item name		Settings
926	12	PID(AUX1)	Changes the AUX1 packet PID value for DVB-ASI output. **<u>0815h</u>:** Set PID value. **---:** When sub item TS i.LINK MODE of menu item 926 is set to "HDV". You can set the value over the range from 0030h to 1FFEh in 1h units (or 20h units, when the SHIFT button is held down). **Note** Do not set the same PID value as other item.
	13	PID(AUX2)	Changes the AUX2 packet PID value for DVB-ASI output. **<u>0811h</u>:** Set PID value. **---:** When sub item TS i.LINK MODE of menu item 926 is set to "HDV". You can set the value over the range from 0030h to 1FFEh in 1h units (or 20h units, when the SHIFT button is held down). **Note** Do not set the same PID value as other item.

When the target device is an XDS Series device

When you install this board in the XDS Series device, the menu item 831 TS OUT AUDIO MODE and menu item 926 DVB-ASI SETTING are added to the setup menu system of the device. Note that the menu item 036 is not added.

For more information about the XDS Series device, refer to "Setup Menu" in the Operation Manual supplied with the device.

Notes about i.LINK Connections (PDW-HR1 Only)

- Check that connectors are oriented properly before connecting an i.LINK cable to your computer or to the PDW-HR1. Trying to force an improperly oriented connector may damage the connector or the PDW-HR1.
- Connect the i.LINK cable to your computer before connecting it to the PDW-HR1. The PDW-HR1 may be damaged by static electricity if you connect the cable to the PDW-HR1 first.
- Before connecting or disconnecting an i.LINK cable between the PDW-HR1 and other equipment with an i.LINK connector, always power both the PDW-HR1 and the connected equipment off and disconnect all power plugs from their power outlets.
  Inserting or removing an i.LINK connector with the power plugs still connected may cause a damaging surge of high-voltage power to flow from the equipment's i.LINK connector into the PDW-HR1.
- A damaging surge of high-voltage power can still flow into the PDW-HR1 from the i.LINK connector of connected equipment even when a separate i.LINK cable is connected to another i.LINK connector on the equipment, for example when connecting a hard disk to a computer with an i.LINK interface card that provided multiple connectors.
  Always power all equipment off and disconnect all power plugs from their power outlets, both on the PDW-HR1 and on the connected computer and its peripherals, before connecting an i.LINK cable.
- Before turn on or off the power switch of the PDW-HR1, always stop operation of all devices connected to the PDW-HR1 over the i.LINK interface.
- If MPEG TS signal transmission is not possible with the PDW-HR1 powered on, turn off the power switch of the PDW-HR1 and then turn it on again.

Specifications

General

Power requirements and current consumption

+5.8 V, 0.1 A
+3.3 V, 0.7 A
+2.5 V, 0.5 A
(Power is supplied from the target device.)

Dimensions (w/h)

102 × 86 mm ($4^1/_8$ × $3^1/_2$ inches)

Mass Approx. 54 g (1.9 oz)

Stream formats

Video codec

DVB-ASI	MPEG-2 MP@HL MPEG-2 MP@H-14
i.LINK	MPEG-2 MP@H-14

Video resolution/system frequency

1440 × 1080	59.94i, 50i, 29.97P, 25P
1920 × 1080	59.94i, 50i, 29.97P, 25P
1280 × 720	59.94P, 50P

Bit rate selection range

15.00 Mbps to 43.25 Mbps (in steps of 0.01 Mbps)

Audio

MPEG-1 Layer 2	2 channels, 48 kHz, 384 kbps
MPEG-2 Layer 2	4 channels, 48 kHz, 384 kbps

Accessories supplied

Fitting screws (4)
Operation and Installation Guide (1)
Installation Manual (1)

Design and specifications are subject to change without notice.

Note
Always verify that the unit is operating properly before use. SONY WILL NOT BE LIABLE FOR DAMAGES OF ANY KIND INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, COMPENSATION OR REIMBURSEMENT ON ACCOUNT OF THE LOSS OF PRESENT OR PROSPECTIVE PROFITS DUE TO FAILURE OF THIS UNIT, EITHER DURING THE WARRANTY PERIOD OR AFTER EXPIRATION OF THE WARRANTY, OR FOR ANY OTHER REASON WHATSOEVER.

Avant d’utiliser l’appareil, veuillez lire attentivement ce manuel et le conserver pour future référence.

Pour les clients en Europe

Ce produit portant la marque CE est conforme à la Directive sur la compatibilité électromagnétique (EMC) émise par la Commission de la Communauté européenne. La conformité à cette directive implique la conformité aux normes européennes suivantes :

- EN55103-1 : Interférences électromagnétiques (émission)
- EN55103-2 : Sensibilité électromagnétique (immunité)

Ce produit est prévu pour être utilisé dans les environnements électromagnétiques suivants : E1 (résidentiel), E2 (commercial et industrie légère), E3 (urbain extérieur) et E4 (environnement EMC contrôlé, ex. studio de télévision).

Le fabricant de ce produit est Sony Corporation, 1-7-1 Konan, Minato-ku, Tokyo, Japon.
Le représentant autorisé pour EMC et la sécurité des produits est Sony Deutschland GmbH, Hedelfinger Strasse 61, 70327 Stuttgart, Allemagne.

Précautions

Si cette carte est mal installée, des lésions corporelles ou des dommages aux périphériques peuvent se produire suite à un incendie, un choc ou toute autre circonstance à risques. Pour éviter ce type de situation, l’installation doit être réalisée par des techniciens qualifiés.

Note au technicien chargé de l’installation de cette carte

Pour consulter les instructions relatives à l’installation, reportez-vous au INSTALLATION MANUAL (manuel d’installation) fourni avec ce produit.

Remarque

Assurez-vous de mettre le PDW-HR1 ou le dispositif de la série XDS hors tension avant d’installer cette carte.

Présentation

La carte MPEG TS PDBK-202 (appelée « cette carte » dans la suite de ce document) est une carte optionnelle pour l'installation dans l'enregistreur de terrain de Professional Disc PDW-HR1 ou la station multimédia professionnelle de la série XDS de Sony.
Les caractéristiques principales de cette carte sont les suivantes.

Lorsque cette carte est installée dans le PDW-HR1, vous pouvez recevoir des signaux MPEG TS [1] (conformes à la norme IEEE 1394, balayage entrelacé ou progressif) compatibles avec le format HDV [2] 1080i [3], et enregistrer ces signaux sur des Professional Disc XDCAM.
Vous pouvez aussi lire des Professional Disc XDCAM et émettre des signaux MPEG TS (conformes à la norme IEEE 1394, balayage entrelacé ou progressif) compatibles avec le format HDV 1080i, et des signaux DVB-ASI TS.
L'installation de cette carte dans un dispositif de la série XDS permet de recevoir/d'émettre des signaux DVB-ASI TS à partir du dispositif.

Remarque

Les dispositifs de la série XDS ne prennent pas en charge i.LINK.

1) MPEG TS : flux de transport MPEG-2 comprenant de la vidéo MPEG, de l'audio MPEG, et des informations de contrôle. Ceci est l'interface standard pour les appareils HDV.
2) HDV et HDV sont des marques commerciales de Sony Corporation et Victor Company of Japan, Limited.
3) HDV 1080i : fait référence aux dispositifs conformes à la « norme HDV1080i » pour l'enregistrement de signaux HD sur bande DV. Prend en charge HDV 1080/59.94i ou 1080/29.97P et HDV 1080/50i ou 1080/25P.

À propos du mode d'emploi

Consultez le mode d'emploi du dispositif dans lequel vous installez cette carte (appelé par la suite « le dispositif cible »).
PDW-HR1 : 1ère édition
XDS-1000 : 1ère édition (révision 1)
XDS-PD1000/PD2000 : 1ère édition

Les informations supplémentaires qui suivent sont à ajouter au mode d'emploi ci-dessus lors de l'installation de cette carte sur le PDW-HR1 ou un dispositif de la série XDS.

Lorsque le dispositif cible est le PDW-HR1

Remarques

- Cette carte ne peut pas enregistrer les signaux DV.
- i.LINK (TS) n'est pas émis lorsque le format vidéo est 720P.
- Si, après le montage du contenu à l'aide d'un système de montage non linéaire raccordé au PDW-HR1, vous souhaitez écrire de nouveau le contenu sur un disque PDW-HR1, réglez ensuite F2 : PB/EE à la page HOME du menu de fonction sur « EE ».
- Pour télécharger un contenu depuis le PDW-HR1 vers un système de montage non linéaire, réglez F2 : PB/EE à la page HOME du menu de fonction sur « PB ».

Vérification des versions de logiciel

Vérifiez bien que la version du logiciel du PDW-HR1 est la version 2.0 ou supérieure, et que la version du logiciel du dispositif de la série XDS est la version 1.1 ou supérieure.

Vous pouvez vérifier les versions de logiciel à l'aide de l'option du menu de maintenance M30 : SOFTWARE VERSION. Pour plus d'informations, consultez « Menu de maintenance » dans le mode d'emploi du dispositif cible.

Si les versions de logiciel de cette carte et du dispositif cible ne correspondent pas

Lors de la mise sous tension du dispositif cible immédiatement après l'installation de cette carte, le code d'erreur « ERROR 95-119 » ou « ERROR 95-419 » peut s'afficher. Ceci n'est pas un dysfonctionnement.
Suivez la procédure de mise à jour du dispositif cible à la dernière version du package logiciel quand cette carte est installée dans le dispositif.
Cela met à jour le dispositif cible ainsi que cette carte.

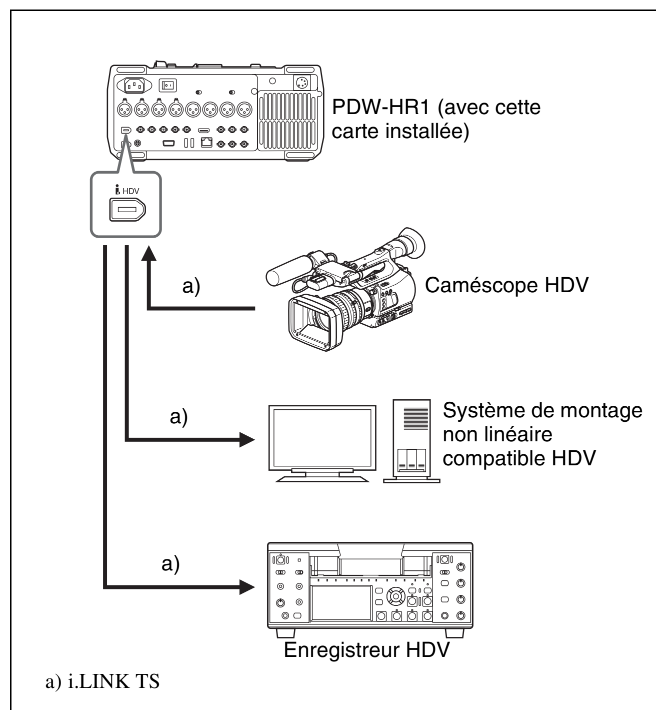
Pour plus d'informations sur la mise à jour du logiciel, contactez votre distributeur Sony ou un représentant commercial Sony.

FR

Exemples de configurations de systèmes

Les illustrations suivantes montrent des exemples de systèmes.

Exemples d'utilisation de l'entrée/de la sortie i.LINK TS (PDW-HR1 uniquement)



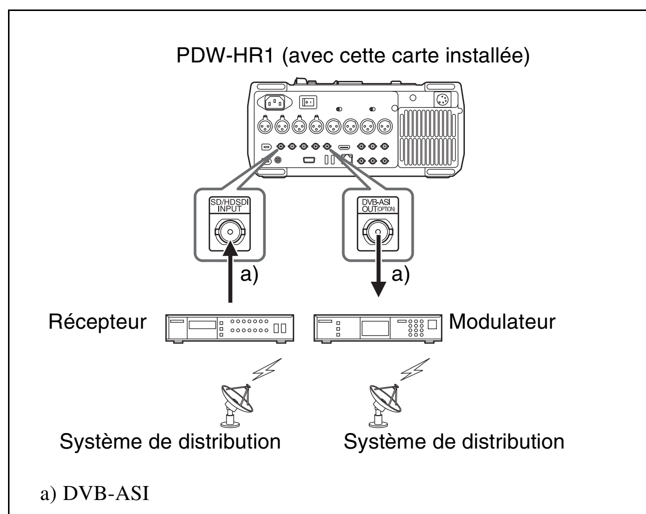
Remarque

Avant de connecter un caméscope HDV ou un enregistreur HDV à l'aide d'un câble i.LINK, réglez le caméscope ou l'enregistreur sur les signaux d'entrée/sortie HDV via l'interface i.LINK.

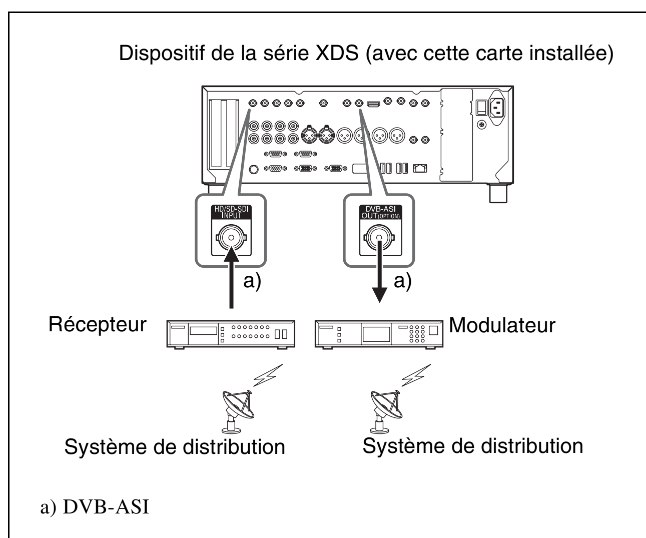
Pour plus de détails concernant les réglages d'interface i.LINK, reportez-vous au mode d'emploi du caméscope HDV ou de l'enregistreur HDV.

Exemples d'utilisation de l'entrée/de la sortie DVB-ASI

Lorsque le dispositif cible est le PDW-HR1



Lorsque le dispositif cible est un dispositif de la série XDS



Pour recevoir des signaux DVB-ASI TS

Utilisez le connecteur d'entrée de signaux DVB-ASI TS du dispositif cible *(voir la figure précédente)*.

PDW-HR1 : connecteur SD/HDSDI INPUT

Dispositif de la série XDS : connecteur HD/SD-SDI INPUT.

Signaux d'entrée DVB-ASI TS pris en charge (PDW-HR1 uniquement)

La prise en charge est limitée aux signaux DVB-ASI TS émis par les dispositifs XDCAM optionnels (comme le HDCA-702) qui prend en charge la transmission en flux de transport MPEG-2.

Réglages du menu

Réglez les options suivantes.

Lorsque le dispositif cible est le PDW-HR1

Option	Réglage
V INPUT à la page P1 VIDEO du menu de fonction	DVB-ASI
Sous-option TS i.LINK MODE de l'option du menu de configuration 926	**HDV :** Réglez PROGRAM NUMBER sur « 00100 » (valeur par défaut). **Manual :** Vous pouvez régler PROGRAM NUMBER sur n'importe quel numéro de programme. **Remarque** Cette option ne s'affiche pas sur les systèmes 720P.
Sous-option PROGRAM NUMBER de l'option du menu de configuration 926	Réglez TS i.LINK MODE sur « Manual », et indiquez un numéro de programme (1 à 65535 (FFFFh)).

Lorsque le dispositif cible est un dispositif de la série XDS

Option	Réglage
F2 : V INPUT à la page P1 INPUT du menu de fonction	DVB-ASI
Sous-option I/O MODE de l'option du menu de configuration 926	Règle l'entrée/la sortie DVB-ASI. **input [in] :** mode d'entrée fixe **output [out] :** mode de sortie fixe
Sous-option TS MODE de l'option du menu de configuration 926	Sélectionne le mode TS (en mode 59.94i/29.97P/50i/25P uniquement). **HDV :** mode HDV **Manual [manu] :** mode de taux de codage
Sous-option PROGRAM NUMBER de l'option du menu de configuration 926	Réglez TS MODE sur « Manual » et indiquez un numéro de programme (décimal).

- Si vous réglez V INPUT à la page P1 VIDEO du menu de fonction sur « DVB-ASI », A1 INPUT à A4 INPUT à la page P2 AUDIO sont également réglés automatiquement sur « DVB-ASI ».
- Si vous indiquez un numéro de programme avec la sous-option PROGRAM NUMBER de l'option du menu de configuration 926, vous pouvez sélectionner et recevoir un programme déterminé depuis des signaux DVB-ASI TS qui contiennent de nombreux programmes multiplexés.

Pour utiliser des métadonnées multiplexées dans des signaux DVB-ASI TS

Réglez les options indiquées ci-dessous, en fonction du type de métadonnées.

Type de métadonnées	Réglage
Code temporel et bits utilisateur	**Lorsque le dispositif cible est le PDW-HR1** **Interrupteur INT/EXT/SDI :** EXT ou SDI Le générateur de code temporel interne du dispositif cible est synchronisé avec les données de code temporel contenues dans le signal TS.
	Dans le cas d'un dispositif de la série XDS Lorsque TCG à la page TC du menu de fonction est réglé sur « EXT » ou « SDI », le générateur de code temporel interne se synchronise avec les données de code temporel contenues dans le signal TS.
Repère	Les repères sont enregistrés automatiquement, sans réglages particuliers. Dans le cas du PDW-HR1, pour vérifier les images où des repères sont définis, affichez l'écran de vignettes de chapitres.
Nom du plan (PDW-HR1 uniquement)	**Sous-option AUTO NAMING de l'option du menu de configuration 036 :** ext Le nom du plan enregistré dans les signaux TS au point de début d'enregistrement. Même si le nom du plan dans les signaux TS est modifié pendant l'enregistrement, le changement du nom de plan n'est pas reflété.
UMID	Ceci est automatiquement enregistré, sans réglages particuliers.

Remarque

Parmi les types de métadonnées mentionnés ci-dessus, la transmission d'informations sur les repères est prioritaire par rapport à celle des noms de plans. Si la quantité d'informations sur les repères à transmettre est trop importante, la transmission des informations sur les noms de plans peut prendre plus longtemps.

Pour émettre des signaux DVB-ASI TS

Dans le cas du PDW-HR1, mettez-le en mode de lecture. Dans le cas d'un dispositif de la série XDS, réglez I/O MODE de l'option du menu de configuration 926 DVB-ASI SETTING sur « output ».

Pour multiplexer les métadonnées dans les signaux de sortie DVB-ASI TS

Réglez la sous-option META PACKET OUT de l'option du menu de configuration 926 sur « on ».
Pendant la lecture à vitesse normale, les métadonnées enregistrées sur le disque sont transmises en même temps que les données vidéo et audio.

Pendant la lecture d'images fixes et la lecture à vitesse variable, seul le code temporel est transmis. Les autres métadonnées ne sont pas transmises.

Remarque

Dans le cas du PDW-HR1, si la sous-option TS i.LINK MODE de l'option du menu de configuration 926 est réglée sur « HDV », les métadonnées autres que les données de code temporel ne sont pas transférées.
Dans le cas d'un dispositif de la série XDS, si la sous-option TS MODE de l'option du menu de configuration 926 est réglée sur « HDV », les métadonnées autres que les données de code temporel ne sont pas transférées.

Réglages supplémentaires du menu de fonction

Lorsque le dispositif cible est le PDW-HR1

Lorsque cette carte est installée dans le PDW-HR1, les réglages soulignés dans les tableaux suivants apparaissent dans le menu de fonction.

Pour en savoir plus sur le fonctionnement du menu de fonction, consultez le chapitre 3 « Préparatifs » dans le mode d'emploi du PDW-HR1.

Page P1 VIDEO

Option	Réglage
F1 : V INPUT	Sélectionne le signal d'entrée vidéo. **HDSDI :** signal HDSDI **SDSDI :** signal SDSDI **CMPST :** signal composite **i.LINK :** signal i.LINK **DVB-ASI :** signal DVB-ASI **SG :** signal de test en provenance du générateur interne de signal

Remarques

- Lorsque « i.LINK » est sélectionné, la sortie HDSDI et la sortie SDSDI en mode E-E du PDW-HR1 ne sont pas garanties. Les signaux DVB-ASI TS ne sont pas émis en mode REC ou en mode E-E.
- Si vous sélectionnez « DVB-ASI », les signaux DVB-ASI TS et i.LINK TS ne sont pas émis, quel que soit le mode de fonctionnement du PDW-HR1.

Page P2 AUDIO

<table>
<tr><th>Option</th><th colspan="2">Réglage</th></tr>
<tr><td rowspan="6">F1 : AU INPUT</td><td colspan="2">Sélectionne le signal d'entrée audio à attribuer aux canaux audio 1 à 8.
SDI : signal audio intégré au signal SDI
ANALOG1 : signal audio analogique 1
SG : signal de test en provenance du générateur de signal interne
i.LINK : signal i.LINK
DVB-ASI : signal DVB-ASI</td></tr>
<tr><td colspan="2">Sous-option</td></tr>
<tr><td>F1 : A1 INPUT (A5 INPUT)</td><td>Signal d'entrée du canal audio 1 (5)</td></tr>
<tr><td>F2 : A2 INPUT (A6 INPUT)</td><td>Signal d'entrée du canal audio 2 (6)</td></tr>
<tr><td>F3 : A3 INPUT (A7 INPUT)</td><td>Signal d'entrée du canal audio 3 (7)</td></tr>
<tr><td>F4 : A4 INPUT (A8 INPUT)</td><td>Signal d'entrée du canal audio 4 (8)</td></tr>
</table>

Remarque

Si vous réglez V INPUT à la page P1 VIDEO du menu de fonction sur « i.LINK » ou « DVB-ASI », alors A1 INPUT à A4 INPUT à la page P2 AUDIO sont réglés automatiquement sur « i.LINK » ou « DVB-ASI ». De plus, il n'est pas possible de régler les signaux d'entrée audio sur un type qui diffère de celui des signaux d'entrée vidéo.

Lorsque le dispositif cible est un dispositif de la série XDS

Lorsque cette carte est installée dans un dispositif de la série XDS et que DVB-ASI du menu de maintenance M22 : OPTION SETTING est réglé sur « on », « DVB-ASI » est ajouté aux pages P1 INPUT et P2 INPUT du menu de fonction. « i.LINK » n'est pas affiché.

Pour plus d'informations sur le dispositif de la série XDS, consultez « Opérations de base du menu de fonction » dans le mode d'emploi fourni avec le dispositif.

Éléments supplémentaires du menu de configuration

Lorsque le dispositif cible est le PDW-HR1

Lorsque cette carte est installée dans le PDW-HR1, les éléments de menu indiqués dans le tableau suivant apparaissent dans le menu de configuration. (Le réglage « ext » est ajouté à la sous-option AUTO NAMING de l'option du menu 036 FILE NAMING.)
Dans la colonne « Réglages » du tableau, le réglage usine par défaut est souligné.

Plus sur le fonctionnement du menu de configuration, consultez le chapitre 8 « Menus » dans le mode d'emploi du PDW-HR1 pour en savoir.

<table>
<tr><th>Numéro de l'option</th><th colspan="2">Nom de l'option</th><th>Réglages</th></tr>
<tr><td rowspan="3">036</td><td colspan="2">FILE NAMING</td><td rowspan="2">Indique si l'utilisation de fichiers de plans et de listes de plans portant des noms définis par l'utilisateur est autorisée.</td></tr>
<tr><td colspan="2">Sous-option</td></tr>
<tr><td>2</td><td>AUTO NAMING</td><td>Si vous sélectionnez « free » pour la sous-option « NAMING FORM », ceci vous permet d'indiquer ce que vous souhaitez utiliser comme nom de plan.
ext : nom de plan dans le signal DVB-ASI</td></tr>
<tr><td>831</td><td colspan="2">TS OUT AUDIO MODE</td><td>Sélectionne le nombre de canaux de sortie audio pour les signaux DVB-ASI TS et i.LINK TS (HDV).
<u>2ch</u> : 2 canaux
4ch : 4 canaux</td></tr>
</table>

Numéro de l'option	Nom de l'option		Réglages
926	DVB-ASI SETTING		Règle les paramètres pour la sortie DVB-ASI, et détermine le numéro du programme à recevoir lors de la réception de signaux DVB-ASI.
	Sous-option		
	1	TS i.LINK MODE	Sélectionne le mode TS i.LINK. **<u>HDV</u> :** Mode HDV Lorsque ce mode est sélectionné, le réglage « Manual » est désactivé. **Manual :** Mode taux d'encodage **Lorsque le format vidéo est 720P** • Cet élément n'apparaît pas. • Aucun signal n'est émis par le connecteur (i.LINK) HDV TS.
	2	ENC RATE (Mbps)	Règle le taux d'encodage. **<u>25.00</u> :** Règle le taux d'encodage. **--- :** Lorsque la sous-option TS i.LINK MODE de l'option du menu 926 est réglée sur « HDV ». Vous pouvez le régler en unités de 0,01 Mbps (ou de 0,20 Mbps lorsque la touche SHIFT est enfoncée) sur une plage de 15,00 Mbps à 43,25 Mbps.
	3	RESOLUTION	Sélectionne le nombre de pixels horizontaux pour le format 1080i. **<u>1440</u> :** 1440 Lorsque la sous-option TS i.LINK MODE de l'option du menu 926 est réglée sur « HDV », celle-ci est définie sur « 1440 ». **1920 :** 1920 Le réglage 1920 est activé lorsque le taux d'encodage est de 35,00 Mbps ou supérieur. **Remarque** Cet élément n'apparaît pas lorsque le format vidéo est 720P.
926	4	PROGRAM NUMBER	Détermine un numéro de programme de signaux d'entrée/de sortie DVB-ASI. **<u>00100</u> :** Règle le numéro du programme (1 à 65535 (FFFFh)). **--- :** Lorsque la sous-option TS i.LINK MODE de l'option du menu 926 est réglée sur « HDV ». Vous pouvez le régler en unités de 1 (ou de 200 lorsque la touche SHIFT est enfoncée).
	5	OUTPUT MODE	Sélectionne le mode de transmission. **<u>Packt</u> :** Mode paquet **Burst :** Mode salve
	6	PACKET LENGTH	Sélectionne la longueur de paquet. **<u>188 Byte</u> :** 188 octets **204 Byte :** 204 octets
	7	META PACKET OUT	Indique la sortie des paquets de métadonnées de signaux DVB-ASI. **<u>off</u> :** Pas de sortie des paquets de métadonnées. **on :** Sortie des paquets de métadonnées. **--- :** Lorsque le sous-élément TS i.LINK MODE de l'élément de menu 926 est réglé sur « HDV ».
	8	PID(PMT)	Modifie la valeur PID des paquets PMT pour la sortie DVB-ASI. **<u>0081h</u> :** Règle la valeur PID. **--- :** Lorsque le sous-élément TS i.LINK MODE de l'élément de menu 926 est réglé sur « HDV ». Vous pouvez régler la valeur dans la fourchette de 0030h à 1FFEh par unités d'1h (ou unités de 20h lorsque la touche SHIFT est maintenue enfoncée). **Remarque** Ne réglez pas la même valeur PID qu'un autre élément.

Numéro de l'option	Nom de l'option		Réglages
926	9	PID(PCR)	Modifie la valeur PID des paquets PCR pour la sortie DVB-ASI. **<u>0134h</u> :** Règle la valeur PID. **--- :** Lorsque le sous-élément TS i.LINK MODE de l'élément de menu 926 est réglé sur « HDV ». Vous pouvez régler la valeur dans la fourchette de 0030h à 1FFEh par unités d'1h (ou unités de 20h lorsque la touche SHIFT est maintenue enfoncée). **Remarque** Ne réglez pas la même valeur PID qu'un autre élément.
	10	PID(VIDEO)	Modifie la valeur PID des paquets VIDEO pour la sortie DVB-ASI. **<u>0810h</u> :** Règle la valeur PID. **--- :** Lorsque le sous-élément TS i.LINK MODE de l'élément de menu 926 est réglé sur « HDV ». Vous pouvez régler la valeur dans la fourchette de 0030h à 1FFEh par unités d'1h (ou unités de 20h lorsque la touche SHIFT est maintenue enfoncée). **Remarque** Ne réglez pas la même valeur PID qu'un autre élément.
	11	PID(AUDIO)	Modifie la valeur PID des paquets AUDIO pour la sortie DVB-ASI. **<u>0814h</u> :** Règle la valeur PID. **--- :** Lorsque le sous-élément TS i.LINK MODE de l'élément de menu 926 est réglé sur « HDV ». Vous pouvez régler la valeur dans la fourchette de 0030h à 1FFEh par unités d'1h (ou unités de 20h lorsque la touche SHIFT est maintenue enfoncée). **Remarque** Ne réglez pas la même valeur PID qu'un autre élément.
	12	PID(AUX1)	Modifie la valeur PID des paquets AUX1 pour la sortie DVB-ASI. **<u>0815h</u> :** Règle la valeur PID. **--- :** Lorsque le sous-élément TS i.LINK MODE de l'élément de menu 926 est réglé sur « HDV ». Vous pouvez régler la valeur dans la fourchette de 0030h à 1FFEh par unités d'1h (ou unités de 20h lorsque la touche SHIFT est maintenue enfoncée). **Remarque** Ne réglez pas la même valeur PID qu'un autre élément.
	13	PID(AUX2)	Modifie la valeur PID des paquets AUX2 pour la sortie DVB-ASI. **<u>0811h</u> :** Règle la valeur PID. **--- :** Lorsque le sous-élément TS i.LINK MODE de l'élément de menu 926 est réglé sur « HDV ». Vous pouvez régler la valeur dans la fourchette de 0030h à 1FFEh par unités d'1h (ou unités de 20h lorsque la touche SHIFT est maintenue enfoncée). **Remarque** Ne réglez pas la même valeur PID qu'un autre élément.

Lorsque le dispositif cible est un dispositif de la série XDS

Lorsque vous installez cette carte dans le dispositif de la série XDS, l'élément de menu 831 TS OUT AUDIO MODE et l'élément de menu 926 DVB-ASI SETTING sont ajoutés au système du menu de configuration du dispositif. Notez que l'élément de menu 036 n'est pas ajouté.

Pour plus d'informations sur le dispositif de la série XDS, consultez « Menu de configutation » dans le mode d'emploi fourni avec le dispositif.

Remarques à propos des connexions i.LINK (PDW-HR1 uniquement)

- Vérifiez que les connecteurs sont orientés correctement avant de brancher un câble i.LINK à votre ordinateur ou au PDW-HR1. Si vous essayez de forcer sur un connecteur mal orienté, cela risque d'endommager le connecteur ou le PDW-HR1.
- Branchez le câble i.LINK à votre ordinateur avant de le brancher au PDW-HR1. Le PDW-HR1 risque d'être endommagé par de l'électricité statique si vous branchez le câble au PDW-HR1 en premier.
- Avant de brancher ou de débrancher un câble i.LINK entre le PDW-HR1 et un autre équipement disposant d'un connecteur i.LINK, mettez toujours le PDW-HR1 et l'équipement connecté hors tension et débranchez toutes les fiches d'alimentation de leur prise de courant respective.
  L'insertion ou le retrait d'un connecteur i.LINK lorsque les fiches d'alimentation sont branchées risque de provoquer une surtension d'alimentation dangereuse passant du connecteur i.LINK de l'équipement au PDW-HR1.
- Une surtension d'alimentation dangereuse peut quand même être envoyée au PDW-HR1 depuis le connecteur i.LINK de l'équipement connecté quand un autre câble i.LINK est branché à un autre connecteur i.LINK de l'équipement, par exemple, lors de la connexion d'un disque dur à un ordinateur avec une carte d'interface i.LINK offrant plusieurs connecteurs.
  Mettez toujours hors tension tous les équipements et débranchez toutes les fiches d'alimentation de leur prise de courant respective, aussi bien pour le PDW-HR1 que pour l'ordinateur connecté et ses périphériques, avant de brancher un câble i.LINK.
- Avant d'activer ou de désactiver l'interrupteur d'alimentation du PDW-HR1, arrêtez toujours les opérations sur tous les équipements connectés par l'interface i.LINK.
- Si la transmission de signal MPEG TS n'est pas possible avec le PDW-HR1 sous tension, désactivez l'interrupteur d'alimentation du PDW-HR1 puis réactivez-le.

Caractéristiques techniques

Généralités

Alimentation et consommation
+5,8 V, 0,1 A
+3,3 V, 0,7 A
+2,5 V, 0,5 A
(L'alimentation est fournie par le dispositif cible.)

Dimensions (l/h) 102 × 86 mm ($4^1/_8 \times 3^1/_2$ pouces)
Poids Environ 54 g (1,9 onces)

Formats de flux

Codec vidéo

DVB-ASI MPEG-2 MP@HL
MPEG-2 MP@H-14
i.LINK MPEG-2 MP@H-14

Résolution vidéo/fréquence du système

1440 × 1080 59,94i, 50i, 29,97P, 25P
1920 × 1080 59,94i, 50i, 29,97P, 25P
1280 × 720 59,94P, 50P

Plage de sélection du débit binaire

15,00 Mbps à 43,25 Mbps (par étapes de 0,01 Mbps)

Audio

MPEG-1 Layer 2 2 canaux, 48 kHz, 384 kbps
MPEG-2 Layer 2 4 canaux, 48 kHz, 384 kbps

Accessoires fournis

Vis de montage (4)
Guide d'utilisation et d'installation (1)
Manuel d'installation (1)

Le design et les caractéristiques techniques de l'appareil sont sujets à modification sans préavis.

Remarque
Vérifiez toujours que l'appareil fonctionne correctement avant l'utilisation. **Sony n'assumera pas de responsabilité pour les dommages de quelque sorte qu'ils soient, incluant mais ne se limitant pas à la compensation ou au remboursement, à cause de la perte de profits actuels ou futurs suite à la défaillance de cet appareil, que ce soit pendant la période de garantie ou après son expiration, ou pour toute autre raison quelle qu'elle soit.**

Deutsch

Bitte lesen Sie dieses Handbuch vor der Benutzung des Geräts sorgfältig durch und bewahren Sie es zum späteren Nachschlagen auf.

Für Kunden in Europa

Dieses Produkt besitzt die CE-Kennzeichnung und erfüllt die EMV-Richtlinie der EG-Kommission.
Angewandte Normen:

- EN55103-1: Elektromagnetische Verträglichkeit (Störaussendung)
- EN55103-2: Elektromagnetische Verträglichkeit (Störfestigkeit)

Für die folgenden elektromagnetischen Umgebungen: E1 (Wohnbereich), E2 (kommerzieller und in beschränktem Maße industrieller Bereich), E3 (Stadtbereich im Freien) und E4 (kontrollierter EMV-Bereich, z.B. Fernsehstudio).

Der Hersteller dieses Produkts ist Sony Corporation, 1-7-1 Konan, Minato-ku, Tokyo, Japan.
Der autorisierte Repräsentant für EMV und Produktsicherheit ist Sony Deutschland GmbH, Hedelfinger Strasse 61, 70327 Stuttgart, Deutschland.

Vorsichtsmaßnahmen

Wenn dieses Produkt nicht korrekt installiert ist, besteht Feuergefahr bzw. die Gefahr eines elektrischen Schlags, und es kann zu Verletzungen oder Beschädigungen von Peripherie HR1geräten kommen. Um dies zu vermeiden, sollte die Installation ausschließlich von qualifiziertem Kundendienstpersonal durchgeführt werden.

Für Kundendienstfachleute, die das Produkt installieren

Die Installationsanweisungen entnehmen Sie bitte dem mit diesem Produkt gelieferten INSTALLATION MANUAL (Instllationsanleitung).

Hinweis

Achten Sie darauf, den PDW-HR1 oder das Gerät der XDS-Serie auszuschalten, bevor Sie diese Karte einbauen.

Überblick

Die PDBK-202 MPEG TS Karte (im folgenden Text „diese Karte“) kann zusätzlich in die Professional Disc Field Station Sony PDW-HR1 oder die Professional Media Station der XDS-Serie eingebaut werden.
Die Hauptleistungsmerkmale dieser Karte sind wie folgt.

Sobald diese Karte im PDW-HR1 installiert wurde, können Sie MPEG TS [1)] Signale eingeben (IEEE 1394 konform, Interlace oder Progressive Scan) HDV [2)] kompatibel 1080i [3)] Format, und diese Signale auf XDCAM Professional Disc aufzeichnen.
Außerdem können Sie XDCAM Professional Disc abspielen und MPEG TS Signale (IEEE 1394 konform, Interlace oder Progressive Scan) HDV kompatibel, 1080i Format, und DVB-ASI TS Signale ausgeben.
Durch die Installation dieser Karte in ein Gerät der XDS-Serie können DVB-ASI TS Signale in dieses Gerät eingespeist und von diesem Gerät ausgegeben werden.

Hinweis

Geräte der XDS-Serie unterstützen i.LINK nicht.

1) MPEG TS: MPEG-2 Transportströme mit MPEG-Video, MPEG-Audio und Steuerinformationen. Dies ist die Standard-Schnittstelle für HDV-Geräte.
2) HDV und HDV sind Warenzeichen der Sony Corporation und Victor Company of Japan, Limited.
3) HDV 1080i: Bezeichnet zum „HDV 1080i Standard“ kompatible Geräte zur Aufzeichnung von HD-Signalen auf DV-Band. Unterstützt HDV 1080/59.94i oder 1080/29.97P und HDV 1080/50i oder 1080/25P.

Für Bedienungsanleitungen

Siehe die Bedienungsanleitung des Geräts, in dem diese Karte installiert wird (im folgenden als „Zielgerät“ bezeichnet).
PDW-HR1: 1. Ausgabe
XDS-1000: 1. Ausgabe (1 Überarbeitung)
XDS-PD1000/PD2000: 1. Ausgabe

Es folgen zusätzliche Hinweise, die obiger Anleitung hinzuzufügen sind, sobald diese Karte in den PDW-HR1 oder des Gerät der XDS-Serie eingebaut wurde.

Wenn es sich beim Zielgerät um PDW-HR1 handelt

Hinweise

- Diese Karte kann keine DV Signale aufnehmen.
- i.LINK (TS) ist nicht der Ausgang, wenn das Videoformat 720P gewählt wurde.
- Falls Sie das Material nach dessen Bearbeitung mit einem am PDW-HR1 angeschlossenen nonlinearen Bearbeitungssystem wieder auf die Disc des PDW-HR1 schreiben möchten, stellen Sie F2: PB/EE auf der Seite HOME des Funktionsmenüs auf „EE“.
- Zum Hochladen von Materialien von dem PDW-HR1 auf ein nonlineares Bearbeitungssystem stellen Sie F2: PB/EE auf der Seite HOME des Funktionsmenüs auf „PB“.

Überprüfen der Softwareversionen

Stellen Sie sicher, dass es sich bei der Softwareversion von PDW-HR1 um 2.0 oder höher und bei der Softwareversion des Geräts der XDS-Serie um 1.1 oder höher handelt.

Sie können die Softwareversionen mit dem Wartungsmenüpunkt M30: SOFTWARE VERSION überprüfen. Einzelheiten dazu finden Sie unter „Wartungsmenü“ in der Bedienungsanleitung des Zielgeräts.

Falls die Softwareversionen dieser Karte und des Zielgeräts nicht übereinstimmen

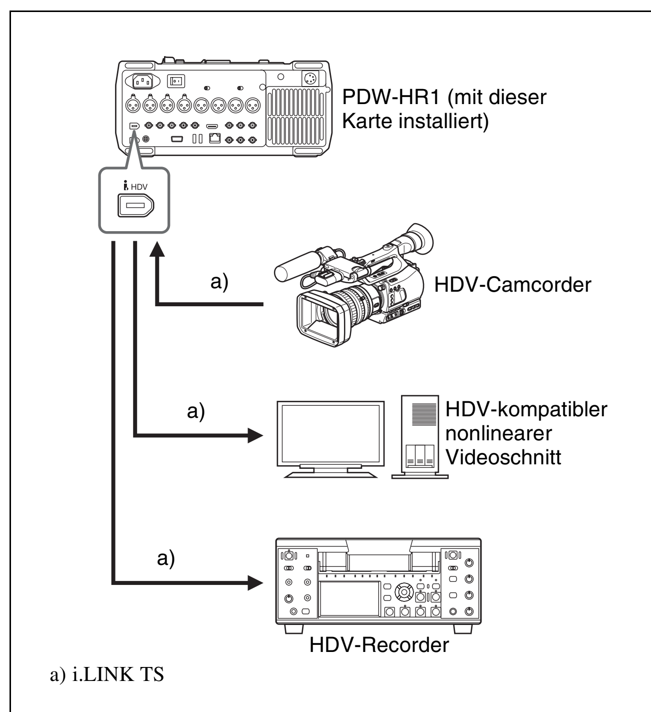
Wenn Sie das Zielgerät sofort nach der Installation dieser Karte einschalten, könnte eventuell der Fehlercode „ERROR 95-119“ oder „ERROR 95-419“ erscheinen. Es handelt sich hierbei um keine Fehlfunktion.
Befolgen Sie den Vorgang zum Aktualisieren des Zielgeräts auf die aktuellste Version des Softwarepakets, während die Karte im Gerät installiert ist.
Dadurch wird sowohl das Zielgerät als auch diese Karte aktualisiert.

Für weitere Informationen zur Aktualisierung der Software wenden Sie sich an Ihren Fachhändler oder eine Sony Kundendienstvertretung.

Systemkonfigurations-beispiel

Die folgenden Abbildungen zeigen Beispiele von Systemen.

Beispiele für den Betrieb mit i.LINK TS-Eingabe/Ausgabe (nur PDW-HR1)



a) i.LINK TS

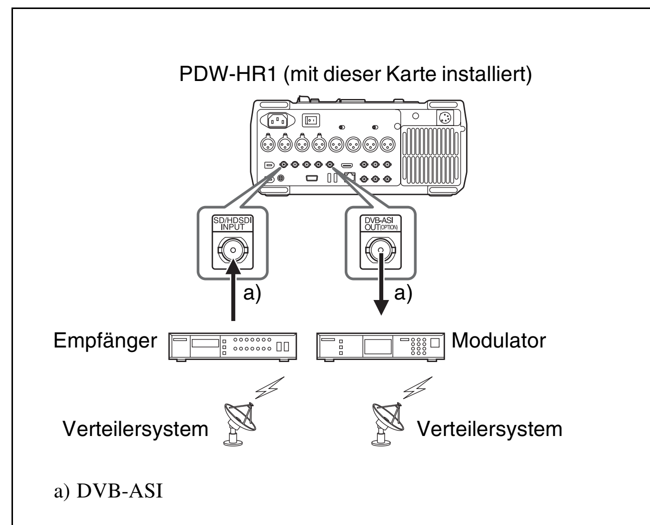
Hinweis

Bevor Sie einen HDV-Camcorder oder einen HDV-Recorder durch ein i.LINK-Kabel anschließen, richten Sie den Camcorder oder Recorder für die Ein-/Ausgabe von HDV-Signalen über eine i.LINK-Schnittstelle ein.

Für nähere Informationen zu den i.LINK-Schnittstellen-Einstellungen siehe die Bedienungsanleitung des HDV-Camcorders oder des HDV-Recorders.

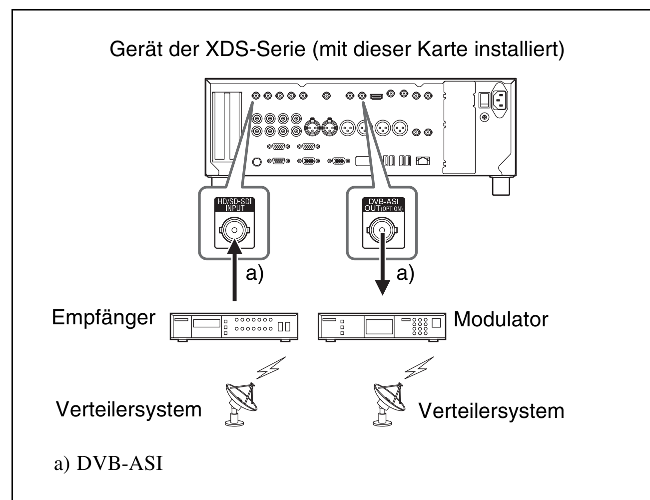
Beispiele für den Betrieb mit DVB-ASI-Eingabe/Ausgabe

Wenn es sich beim Zielgerät um PDW-HR1 handelt



a) DVB-ASI

Wenn es sich beim Zielgerät um ein Gerät der XDS-Serie handelt



a) DVB-ASI

Eingabe von DVB-ASI TS-Signalen

Verwenden Sie den DVB-ASI TS-Eingangssignalanschluss am Zielgerät *(siehe die vorherige Abbildung)*.
PDW-HR1: SD/HDSDI INPUT-Anschluss
Gerät der XDS-Serie: HD/SD-SDI INPUT-Anschluss

Unterstützte DVB-ASI TS-Eingangssignale (nur PDW-HR1)

Die Unterstützung ist auf DVB-ASI TS-Signale beschränkt, die von optionalen XDCAM-Geräten (wie des HDCA-702) ausgegeben werden, die die Übertragung von MPEG-2-Transportströmen unterstützten.

Menüeinstellungen

Stellen Sie die folgenden Punkte ein.

Wenn es sich beim Zielgerät um PDW-HR1 handelt

Menüpunkt	Einstellung
V INPUT auf der Seite P1 VIDEO des Funktionsmenüs	DVB-ASI
Unterpunkt TS i.LINK MODE des Konfigurationsmenüpunkts 926	**HDV:** Stellen Sie PROGRAM NUMBER auf „00100“ (werkseitige Standardeinstellung). **Manual:** Sie können PROGRAM NUMBER auf jede beliebige Programmnummer einstellen. **Hinweis** Dieser Punkt erscheint nicht bei 720P-Systemen.
Unterpunkt PROGRAM NUMBER von Konfigurationsmenüpunkt 926	Stellen Sie TS i.LINK MODE auf „Manual“ und legen Sie eine Programmnummer fest (1 bis 65535 (FFFFh)).

Wenn es sich beim Zielgerät um ein Gerät der XDS-Serie handelt

Menüpunkt	Einstellung
F2: V INPUT auf der Seite P1 INPUT des Funktionsmenüs	DVB-ASI
Unterpunkt I/O MODE des Konfigurationsmenüpunkts 926	Einstellung des DVB-ASI-Eingangs/-Ausgangs. **input [in]:** Fest eingestellter Eingabemodus **output [out]:** Fest eingestellter Ausgabemodus
Unterpunkt TS MODE des Konfigurationsmenüpunkts 926	Wahl des TS-Modus. (nur Modus 59.94i/29.97P/50i/25P.) **HDV:** HDV-Modus **Manual [manu]:** Codierungsfrequenz-Modus
Unterpunkt PROGRAM NUMBER von Konfigurationsmenüpunkt 926	Stellen Sie TS MODE auf „Manual“ und legen Sie eine Programmnummer fest (dezimal).

- Falls Sie V INPUT auf der Seite P1 VIDEO des Funktionsmenüs auf „DVB-ASI“ stellen, werden A1 INPUT bis A4 INPUT auf der Seite P2 AUDIO ebenfalls automatisch auf „DVB-ASI“ gestellt.
- Durch das Festlegen einer Programmnummer mit dem Unterpunkt PROGRAM NUMBER des Konfigurationsmenüpunkts 926 ist es möglich, ein festgelegtes Programm aus DVB-ASI TS-Signalen auszuwählen und zu empfangen, die mehrere integrierte Programme enthalten.

Verwenden von Metadaten, die in DVB-ASI TS-Signale integriert sind

Nehmen Sie die unten gezeigten Einstellungen entsprechend des Typs der Metadaten vor.

Metadatentyp	Einstellung
Zeitcode/Benutzerbits	**Wenn es sich beim Zielgerät um PDW-HR1 handelt** **Schalter INT/EXT/SDI:** EXT oder SDI Der interne Zeitcodegenerator des Zielgeräts wird auf die im TS-Signal enthaltenen Zeitcodedaten synchronisiert.
	Bei Geräten der XDS-Serie Wenn TCG auf der Seite TC des Funktionsmenüs auf „EXT“ oder „SDI“ steht, synchronisiert der interne Zeitcodegenerator auf die im TS-Signal enthaltenen Zeitcodedaten.
Inhaltsmarkierung	Diese werden automatisch und ohne Spezialeinstellungen aufgezeichnet. Handelt es sich um den PDW-HR1 und zum Suchen nach Einzelbildern, an denen Inhaltsmarkierungen gesetzt wurden, rufen Sie die Kapitel-Skizzenanzeige auf.
Clipname (nur PDW-HR1)	**Unterpunkt AUTO NAMING des Konfigurationsmenüpunkts 036:** ext Der Clipname wird am Aufzeichnungsstartpunkt in TS-Signalen aufgezeichnet. Selbst wenn der Clipname in den TS-Signalen während der Aufzeichnung geändert wird, wird die Änderung des Clipnamens nicht berücksichtigt.
UMID	Dies wird automatisch und ohne Spezialeinstellungen aufgezeichnet.

Hinweis

Bei den oben aufgelisteten Metadatentypen hat die Übertragung von Inhaltsmarkierungsinformationen Vorrang vor der Übertragung von Clipnamen. Falls es zuviele Inhaltsmarkierungsinformationen zu übertragen gibt, könnte die Übertragung von Clipnamens-Informationen einige Zeit in Anspruch nehmen.

Zur Ausgabe von DVB-ASI TS-Signalen

Handelt es sich um PDW-HR1, wechseln Sie in den Wiedergabemodus.
Handelt es sich um ein Gerät der XDS-Serie, stellen Sie I/O MODE des Konfigurationsmenüpunkts 926 DVB-ASI SETTING auf „output“.

Integrieren von Metadaten in DVB-ASI TS-Ausgangssignale

Stellen Sie den Unterpunkt META PACKET OUT des Konfigurationsmenüpunkts 926 auf „on“.
Während der Wiedergabe mit normaler Geschwindigkeit werden auf der Disc aufgezeichnete Metadaten gleichzeitig mit den Video- und Audiodaten übertragen.
Während der Wiedergabe von Standbildern und der Wiedergabe mit variabler Geschwindigkeit wird nur der Zeitcode übertragen. Es werden keine anderen Metadaten übertragen.

Hinweis

Handelt es sich um den PDW-HR1 und ist der Unterpunkt TS i.LINK MODE des Konfigurationsmenüpunkts 926 auf „HDV“ gesetzt, werden keine anderen Metadaten als die Zeitcodedaten übertragen.
Handelt es sich um ein Gerät der XDS-Serie und ist der Unterpunkt TS MODE des Konfigurationsmenüpunkts 926 auf „HDV“ gesetzt, werden keine anderen Metadaten als die Zeitcodedaten übertragen.

Zusätzliche Funktions-menüeinstellungen

Wenn es sich beim Zielgerät um PDW-HR1 handelt

Sobald die Karte in der PDW-HR1 installiert wurde, erscheinen die in den folgenden Tabellen unterstrichenen Einstellungen im Funktionsmenü.

Nähere Informationen über Funktionen des Funktionsmenüs finden Sie in Kapitel 3 „Vorbereitungen“ in der Bedienungsanleitung Ihrer PDW-HR1.

Seite P1 VIDEO

Menüpunkt	Einstellung
F1: V INPUT	Wahl des Videoeingangssignals. **HDSDI:** HDSDI Signal **SDSDI:** SDSDI Signal **CMPST:** FBAS-Signal **i.LINK:** i.LINK Signal **DVB-ASI:** DVB-ASI-Signal **SG:** Testsignal des internen Signalgenerators

Hinweise

- Bei Wahl von „i.LINK“ wird im E-E-Modus des PDW-HR1 nicht für die Ausgabe von HDSDI und SDSDI garantiert. Im REC-Modus oder E-E-Modus werden keine DVB-ASI TS-Signale ausgegeben.
- Falls Sie „DVB-ASI“ wählen, werden unabhängig von dem Betriebsmodus des PDW-HR1 keine DVB-ASI TS-Signale und i.LINK TS-Signale ausgegeben.

Seite P2 AUDIO

Menüpunkt	Einstellung	
F1: AU INPUT	Wahl des den Audiokanälen 1 bis 8 zugewiesenen Audioeingabesignals. **SDI:** Im SDI-Signal integriertes Audio-Signal **ANALOG1:** Analoges Audiosignal 1 **SG:** Testsignal des internen Signalgenerators **i.LINK:** i.LINK-Signal **DVB-ASI:** DVB-ASI-Signal	
	Unterpunkt	
	F1: A1 INPUT (A5 INPUT)	Eingangssignal Audiokanal 1 (5)
	F2: A2 INPUT (A6 INPUT)	Eingangssignal Audiokanal 2 (6)
	F3: A3 INPUT (A7 INPUT)	Eingangssignal Audiokanal 3 (7)
	F4: A4 INPUT (A8 INPUT)	Eingangssignal Audiokanal 4 (8)

Hinweis

Falls Sie V INPUT auf der Seite P1 VIDEO des Funktionsmenüs auf „i.LINK“ oder „DVB-ASI“ stellen, werden A1 INPUT bis A4 INPUT auf der Seite P2 AUDIO automatisch auf „i.LINK“ oder „DVB-ASI“ gestellt. Außerdem können Audioeingangssignale nicht auf einen Typ eingestellt werden, der sich von dem Typ der Videoeingangssignale unterscheidet.

Wenn es sich beim Zielgerät um ein Gerät der XDS-Serie handelt

Wenn diese Karte in einem Gerät der XDS-Serie installiert ist und DVB-ASI des Wartungsmenüs M22: OPTION SETTING auf „on“ gesetzt ist, wird DVB-ASI zur Seite P1 INPUT und P2 INPUT des Funktionsmenüs hinzugefügt. „i.LINK“ wird nicht angezeigt.

Entnehmen Sie weitere Informationen zu Geräten der XDS-Serie dem Abschnitt „Grundlegende Bedienung des Funktionsmenüs“ der dem Gerät beiliegenden Bedienungsanleitung.

Zusätzliche Konfigurationsmenüpunkte

Wenn es sich beim Zielgerät um PDW-HR1 handelt

Wenn diese Karte an dem PDW-HR1 installiert wurde, erscheinen die in der folgenden Tabelle aufgeführten Menüpunkte im Konfigurationsmenü. (Die Einstellung „ext“ wird zu dem Unterpunkt AUTO NAMING des Menüpunkts 036 FILE NAMING hinzugefügt.)
In der Säule „Einstellungen“ der Tabelle sind die Werkseinstellungen unterstrichen.

Nähere Informationen über Funktionen des Konfigurationsmenüs finden Sie in Kapitel 8 „Menüs“ in den Bedienungsanleitung Ihrer PDW-HR1.

Punkt-nummer	Punktname		Einstellungen
036	FILE NAMING		Legen Sie fest, ob benutzerdefinierte Clip-Namen und Cliplist-Namen existieren dürfen.
	Unterpunkt		
	2	AUTO NAMING	Durch Einstellen des Unterpunkts „NAMING FORM“ auf „free“ können Sie festlegen, welchen Clipnamen Sie verwenden möchten. **ext:** Clipname im DVB-ASI-Signal
831	TS OUT AUDIO MODE		Wahl der Anzahl der Audioausgabekanäle für DVB-ASI TS und i.LIMK TS (HDV)-Signale. **2ch:** 2 Kanäle **4ch:** 4 Kanäle

Punkt-nummer	Punktname		Einstellungen
926	DVB-ASI SETTING		Stellt die Parameter für die DVB-ASI-Ausgabe ein und legt die Nummer des Programms fest, das bei der Eingabe von DVB-ASI-Signalen empfangen werden soll.
	Unterpunkt		
	1	TS i.LINK MODE	Wählt den TS i.LINK-Modus. **<u>HDV</u>:** HDV-Modus Wenn dieser Modus gewählt ist, ist die Einstellung „Manual“ deaktiviert. **Manual:** Kodierungsfrequenz-Modus **Wenn das Videoformat 720P ist** • Dieser Punkt erscheint nicht. • Aus dem Anschluss (i.LINK) HDV TS werden keine Signale ausgegeben.
	2	ENC RATE (Mbps)	Stellt die Kodierungsfrequenz ein. **<u>25.00</u>:** Stellt die Kodierungsfrequenz ein. **---:** Wenn der Unterpunkt TS i.LINK MODE des Menüpunkts 926 auf „HDV“. Sie können sie in Einheiten von 0,01 Mbps (oder 0,20 Mbps, wenn die Taste SHIFT gehalten wird) im Bereich 15,00 Mbps bis 43,25 Mbps einstellen.
	3	RESOLUTION	Wählt die Zahl der horizontalen Pixel für das 1080i Format. **<u>1440</u>:**1440 Wenn der Unterpunkt TS i.LINK MODE des Menüpunkts 926 auf „HDV“ gestellt ist, sind diese als „1440“ festgelegt. **1920:** 1920 Die Einstellung wird aktiviert, wenn die Kodierungsfrequenz bei 35,00 Mbps oder mehr liegt. **Hinweis** Dieser Punkt erscheint nicht, wenn das Videoformat 720P ist.
926	4	PROGRAM NUMBER	Legt die Programmnummer eines DVB-ASI-Eingabe-/ Ausgabesignals fest. **<u>00100</u>:** Stellt die Programmnummer ein (1 bis 65535 (FFFFh)). **---:** Wenn der Unterpunkt TS i.LINK MODE des Menüpunkts 926 auf „HDV“. Sie können diese in Schritten von 1 einstellen (oder 200 wenn die Taste SHIFT gehalten wird).
	5	OUTPUT MODE	Wähl des Übertragungsmodus. **<u>Packt</u>:** Paket-Modus **Burst:** Burst-Modus
	6	PACKET LENGTH	Wählt die Paket-Länge. **<u>188 Byte</u>:** 188 bytes **204 Byte:** 204 bytes
	7	META PACKET OUT	Regelt die Ausgabe von DVB-ASI-Signal-Metadaten pakets. **<u>off</u>:** Keine Metadaten paket ausgeben. **on:** Metadaten paket ausgeben. **---:** Wenn der Unterpunkt TS i.LINK MODE des Menüpunkts 926 auf „HDV“ gestellt ist.
	8	PID(PMT)	Ändert den PID-Wert des PMT-Pakets für die DVB-ASI-Ausgabe. **<u>0081h</u>:** PID-Wert einstellen. **---:** Wenn der Unterpunkt TS i.LINK MODE des Menüpunkts 926 auf „HDV“ gestellt ist. Sie können den Bereich zwischen 0030h und 1FFEh in Einheiten von 1h einstellen (oder in Einheiten von 20h bei gedrückt gehaltener SHIFT-Taste). **Hinweis** Stellen Sie den PID-Wert nicht auf den gleichen Wert ein wie andere Punkte.

Punkt-nummer	Punktname		Einstellungen
926	9	PID(PCR)	Ändert den PID-Wert des PCR-Pakets für die DVB-ASI-Ausgabe. **0134h:** PID-Wert einstellen. **---:** Wenn der Unterpunkt TS i.LINK MODE des Menüpunkts 926 auf „HDV“ gestellt ist. Sie können den Bereich zwischen 0030h und 1FFEh in Einheiten von 1h einstellen (oder in Einheiten von 20h bei gedrückt gehaltener SHIFT-Taste). **Hinweis** Stellen Sie den PID-Wert nicht auf den gleichen Wert ein wie andere Punkte.
	10	PID(VIDEO)	Ändert den PID-Wert des VIDEO-Pakets für die DVB-ASI-Ausgabe. **0810h:** PID-Wert einstellen. **---:** Wenn der Unterpunkt TS i.LINK MODE des Menüpunkts 926 auf „HDV“ gestellt ist. Sie können den Bereich zwischen 0030h und 1FFEh in Einheiten von 1h einstellen (oder in Einheiten von 20h bei gedrückt gehaltener SHIFT-Taste). **Hinweis** Stellen Sie den PID-Wert nicht auf den gleichen Wert ein wie andere Punkte.
	11	PID(AUDIO)	Ändert den PID-Wert des AUDIO-Pakets für die DVB-ASI-Ausgabe. **0814h:** PID-Wert einstellen. **---:** Wenn der Unterpunkt TS i.LINK MODE des Menüpunkts 926 auf „HDV“ gestellt ist. Sie können den Bereich zwischen 0030h und 1FFEh in Einheiten von 1h einstellen (oder in Einheiten von 20h bei gedrückt gehaltener SHIFT-Taste). **Hinweis** Stellen Sie den PID-Wert nicht auf den gleichen Wert ein wie andere Punkte.

Punkt-nummer	Punktname		Einstellungen
926	12	PID(AUX1)	Ändert den PID-Wert des AUX1-Pakets für die DVB-ASI-Ausgabe. **0815h:** PID-Wert einstellen. **---:** Wenn der Unterpunkt TS i.LINK MODE des Menüpunkts 926 auf „HDV“ gestellt ist. Sie können den Bereich zwischen 0030h und 1FFEh in Einheiten von 1h einstellen (oder in Einheiten von 20h bei gedrückt gehaltener SHIFT-Taste). **Hinweis** Stellen Sie den PID-Wert nicht auf den gleichen Wert ein wie andere Punkte.
	13	PID(AUX2)	Ändert den PID-Wert des AUX2-Pakets für die DVB-ASI-Ausgabe. **0811h:** PID-Wert einstellen. **---:** Wenn der Unterpunkt TS i.LINK MODE des Menüpunkts 926 auf „HDV“ gestellt ist. Sie können den Bereich zwischen 0030h und 1FFEh in Einheiten von 1h einstellen (oder in Einheiten von 20h bei gedrückt gehaltener SHIFT-Taste). **Hinweis** Stellen Sie den PID-Wert nicht auf den gleichen Wert ein wie andere Punkte.

Wenn es sich beim Zielgerät um ein Gerät der XDS-Serie handelt

Wenn Sie diese Karte in einem Gerät der XDS-Serie installieren, wird der Menüpunkt 831 TS OUT AUDIO MODE und der Menüpunkt 926 DVB-ASI SETTING dem Konfigurationsmenü des Geräts hinzugefügt. Beachten Sie, dass der Menüpunkt 036 nicht hinzugefügt wird.

Entnehmen Sie weitere Informationen zu Geräten der XDS-Serie, dem Abschnitt „Konfigurationsmenü“ der dem Gerät beiliegenden Bedienungsanleitung.

Hinweise zu i.LINK-Verbindungen (nur PDW-HR1)

- Überprüfen Sie, dass alle Steckverbinder richtig ausgerichtet sind, bevor Sie ein i.LINK-Kabel an Ihren Computer oder Ihre PDW-HR1 anschließen. Das Korrigieren eines falsch ausgerichteten Steckverbinders mit Kraft kann den Steckverbinder oder Ihre PDW-HR1 beschädigen.
- Verbinden Sie das i.LINK-Kabel erst mit Ihrem Computer, bevor Sie es an die PDW-HR1 anschließen. Die PDW-HR1 kann durch statische Elektrizität beschädigt werden, wenn Sie das Kabel zuerst daran anschließen.
- Bevor Sie ein i.LINK-Kabel zwischen die PDW-HR1 und andere Geräte anschließen oder es entfernen, sollten Sie vorher die Stromversorgung des Geräts sowie der verbundenen Geräte ausschalten und alle Stecker von den Steckdosen trennen.
  Das Einstecken oder Entfernen eines i.LINK-Steckverbinders während einer bestehenden Stromversorgung kann eine Spannungsspitze erzeugen, die über die per i.LINK-Steckverbinder angeschlossen Geräte in die PDW-HR1 strömt.
- Eine schädliche Spitzenspannung kann auch in die PDW-HR1 von einem i.LINK-Steckverbinder eines angeschlossenen Geräts strömen, wenn ein anderes i.LINK-Kabel an einen i.LINK-Steckverbinder eines anderen Geräts angeschlossen ist, z.B wenn Sie eine Festplatte über eine i.LINK-Schnittstellenkarte anschließen, die mehrere Steckverbindungen zulässt. Schalten Sie immer die Stromversorgungen aus und trennen Sie alle Netzstecker von den Steckdosen, sowohl der PDW-HR1 als auch an dem angeschlossenen Computers und den Peripherie-Geräten, bevor Sie das i.LINK-Kabel anschließen.
- Bevor Sie den Netzschalter der PDW-HR1 ein- oder ausschalten, beenden Sie zunächst immer alle laufenden Geräte, die über die i.LINK-Schnittstelle angeschlossen sind.
- Falls MPEG TS-Signal-Übertragung bei eingeschalteter PDW-HR1 nicht möglich ist, schalten Sie die PDW-HR1 aus und schalten Sie sie dann wieder ein.

Technische Daten

Allgemeines

Stromversorgung und aktuelle Leistungsaufnahme
+5,8 V, 0,1 A
+3,3 V, 0,7 A
+2,5 V, 0,5 A
(Die Stromversorgung erfolgt über das Zielgerät.)

Abmessungen (B/H)
102 × 86 mm

Gewicht Ca. 54 g

Stream-Formate

Videocodec

DVB-ASI MPEG-2 MP@HL
MPEG-2 MP@H-14
i.LINK MPEG-2 MP@H-14

Videoauflösung/Systemfrequenz

1440 × 1080 59,94i, 50i, 29,97P, 25P
1920 × 1080 59,94i, 50i, 29,97P, 25P
1280 × 720 59,94P, 50P

Wahlbereich für Bitrate

15,00 Mbps bis 43,25 Mbps (in Schritten von 0,01 Mbps)

Audio

MPEG-1 Layer 2 2 Kanäle 48 kHz, 384 kbps
MPEG-2 Layer 2 4 Kanäle 48 kHz, 384 kbps

Mitgelieferter Zubehör

Montageschrauben (4)
Bedienungs- und Einbauanleitung (1)
Installationsanleitung (1)

Konstruktive Änderungen, die dem technischen Fortschritt dienen, bleiben vorbehalten.

Hinweis

Bestätigen Sie vor dem Gebrauch immer, dass das Gerät richtig arbeitet. SONY KANN KEINE HAFTUNG FÜR SCHÄDEN JEDER ART, EINSCHLIESSLICH ABER NICHT BEGRENZT AUF KOMPENSATION ODER ERSTATTUNG, AUFGRUND VON VERLUST VON AKTUELLEN ODER ERWARTETEN PROFITEN DURCH FEHLFUNKTION DIESES GERÄTS ODER AUS JEGLICHEM ANDEREN GRUND, ENTWEDER WÄHREND DER GARANTIEFRIST ODER NACH ABLAUF DER GARANTIEFRIST, ÜBERNEHMEN.

Leggere attentamente questo manuale prima di utilizzare l'unità, e conservarlo per riferimenti futuri.

Per i clienti in Europa

Questo prodotto recante il marchio CE è conforme sia alla direttiva sulla compatibilità elettromagnetica (EMC) emesse dalla Commissione della
Comunità Europea.
La conformità a queste direttive implica la conformità alle seguenti normative europee:

- EN55103-1 : Interferenza elettromagnetica (Emissione)
- EN55103-2 : Sensibilità ai disturbi elettromagnetici (Immunità)

Questo prodotto è destinato all'uso nei seguenti ambienti elettromagnetici: E1 (residenziali), E2 (commerciali e industriali leggeri), E3 (esterni urbani) e E4 (ambienti EMC controllati, ad esempio studi televisivi).

Il fabbricante di questo prodotto è la Sony Corporation, 1-7-1 Konan, Minato-ku, Tokyo, Giappone.
La rappresentanza autorizzata per EMC e la sicurezza dei prodotti è la Sony Deutschland GmbH, Hedelfinger Strasse 61, 70327 Stoccarda, Germania.

Precauzioni

Se la presente unità non viene installata correttamente, gli incendi, le scosse o altre circostanze accidentali conseguenti potrebbero causare dei danni alle periferiche o ferite alle persone. Al fine di evitare tali rischi, l'installazione dovrebbe essere eseguita da tecnici di manutenzione specializzati.

Al tecnico che installa l'unità

Fare riferimento al INSTALLATION MANUAL (manuale di installazione) fornito con la presente unità per le istruzioni di installazione.

Nota

Assicurarsi di aver spento il PDW-HR1 o il dispositivo della serie XDS prima di installare questa scheda.

Panoramica

La scheda MPEG TS PDBK-202 (d'ora in poi denominata "la scheda") è una scheda opzionale da installare sul Sony PDW-HR1 Professional Disc Field Station o nella serie XDS Professional Media Station.
Di seguito vengono descritte le caratteristiche principali di questa scheda.

Quando questa scheda è installata nel PDW-HR1, è possibile immettere segnali MPEG TS [1)] (conformi a IEEE 1394, scansione interlacciata o progressiva) compatibili con il formato HDV [2)] 1080i [3)], e registrare questi segnali su dischi XDCAM Professional Disc.
È inoltre possibile riprodurre dischi XDCAM Professional Disc ed emettere segnali MPEG TS (conformi a IEEE 1394, scansione interlacciata o progressiva) compatibili con il formato HDV 1080i e segnali DVB-ASI TS.
Installare questa scheda su un dispositivo della serie XDS consente di immettere / emettere segnali DVB-ASI TS sul / dal dispositivo.

Nota

I dispositivi della serie XDS non supportano i.LINK.

1) MPEG TS: L'MPEG-2 trasferisce flussi contenenti video MPEG, audio MPEG, e informazioni di controllo. Questa è un'interfaccia standard per apparecchiature HDV.
2) HDV e HDV sono marchi registrati di Sony Corporation e Victor Company of Japan, Limited.
3) HDV 1080i: Si riferisce alla compatibilità dei dispositivi con lo "Standard HDV 1080i" per la registrazione di segnali in HD su nastri DV. Supporta HDV 1080/59.94i o 1080/29.97P e HDV 1080/50i o 1080/25P.

Informazioni sulle istruzioni per l'uso

Fare riferimento al manuale di istruzioni del dispositivo sul quale si installa questa scheda (d'ora in poi denominato "dispositivo di destinazione").
PDW-HR1: Prima edizione
XDS-1000: Prima edizione (Revisione 1)
XDS-PD1000/PD2000: Prima edizione

Le seguenti informazioni supplementari devono essere aggiunte al manuale qui sopra quando questa scheda è stata installata sul PDW-HR1 o dispositivo della serie XDS.

Quando il dispositivo di destinazione è il PDW-HR1

Note

- Questa scheda non può registrare segnali DV.
- i.LINK (TS) non viene emesso quando il formato video è 720P.
- Se dopo aver modificato del materiale con un editor non lineare collegato al PDW-HR1, si vuole riscrivere il materiale su un disco PDW-HR1, impostare F2: PB/EE della pagina HOME del menu funzione su "EE".
- Per caricare materiali dal PDW-HR1 ad un editor non lineare, impostare F2: PB/EE nella pagina HOME del menu funzione su "PB".

Verifica delle versioni dei software

Accertarsi che la versione del software del PDW-HR1 sia 2.0 o superiore e che la versione del software del dispositivo della serie XDS sia 1.1 o superiore.

È possibile verificare le versioni dei software con la voce del menu di manutenzione M30: SOFTWARE VERSION. Per i dettagli, consultare "Menu di manutenzione" nel manuale di istruzioni del dispositivo di destinazione.

Se le versioni dei software di questa scheda e del dispositivo di destinazione non corrispondono

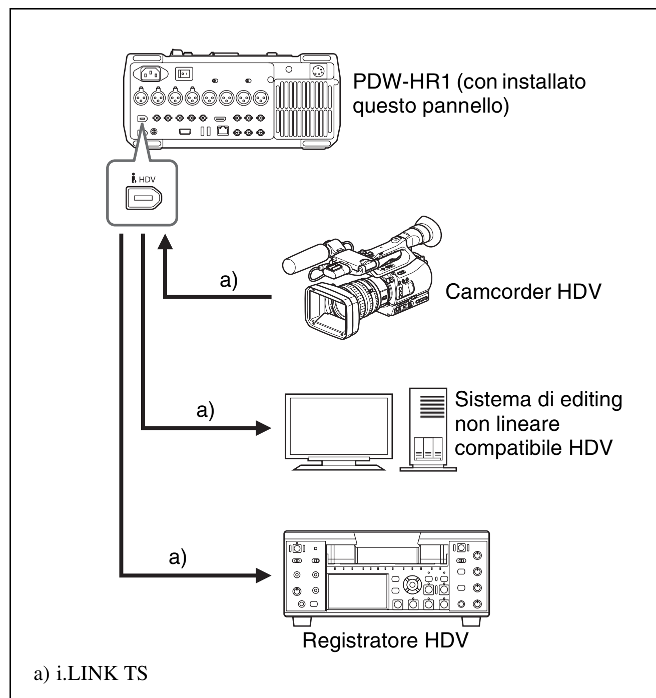
Quando si accende il dispositivo di destinazione subito dopo aver installato questa scheda, potrebbe apparire il codice di errore "ERROR 95-119" o "ERROR 95-419".
Non si tratta di un problema di malfunzionamento.
Eseguire la procedura di aggiornamento del dispositivo di destinazione alla versione più recente del pacchetto software con questa scheda installata sul dispositivo.
In questa maniera vengono aggiornati sia il dispositivo di destinazione sia questa scheda.

Per ulteriori informazioni sull'aggiornamento del software, contattare il proprio rivenditore Sony o il rappresentante tecnico Sony.

Esempi di configurazione di sistema

Le figure seguenti mostrano esempi di sistemi.

Esempi d'uso dell'ingresso/uscita i.LINK TS (solo PDW-HR1)



a) i.LINK TS

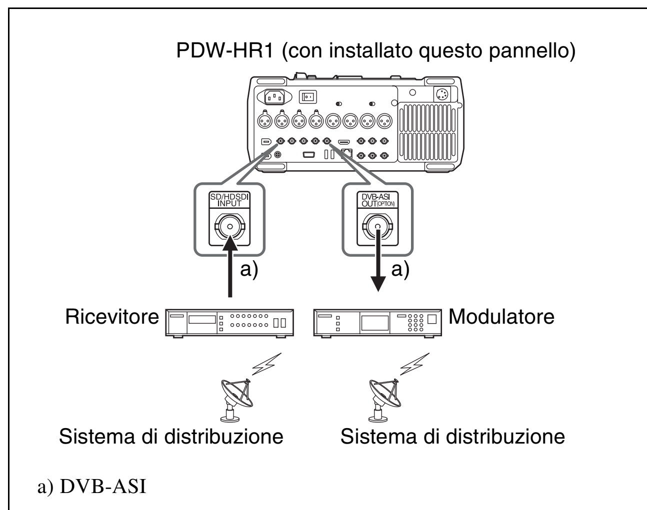
Nota

Prima di collegare un camcorder HDV o un registratore HDV tramite un cavo i.LINK, configurare il camcorder o il registratore in modo che immetta o emetta segnali HDV attraverso l'interfaccia i.LINK.

Per informazioni relative alle impostazioni dell'interfaccia i.LINK, fare riferimento alle Istruzioni per l'uso del camcorder HDV o del registratore HDV.

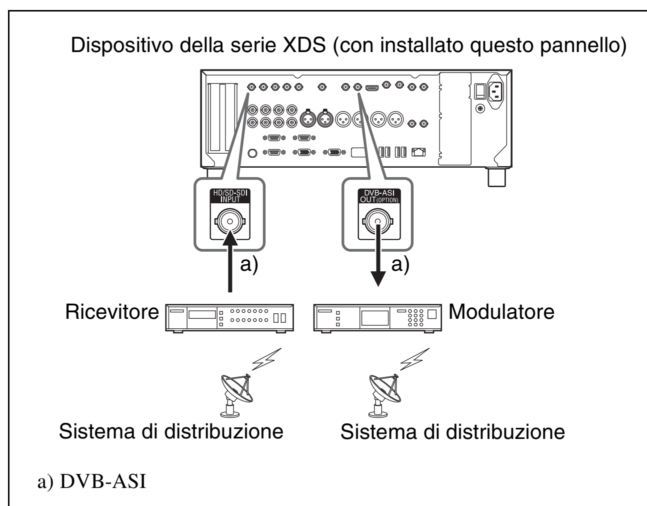
Esempi d'uso dell'ingresso/uscita DVB-ASI

Quando il dispositivo di destinazione è il PDW-HR1



a) DVB-ASI

Quando il dispositivo di destinazione è un dispositivo della serie XDS



a) DVB-ASI

Per immettere segnali DVB-ASI TS

Utilizzare il connettore di ingresso di segnale DVB-ASI TS sul dispositivo di destinazione *(vedere la figura precedente)*.

PDW-HR1: connettore SD/HDSDI INPUT

Dispositivo della serie XDS: connettore HD/SD-SDI INPUT

Segnali di ingresso DVB-ASI TS supportati (solo PDW-HR1)

Il supporto è limitato all'emissione di segnali DVB-ASI TS da dispositivi XDCAM opzionali (come l'HDCA-702) che supportano trasmissione Transport Stream MPEG-2.

Impostazioni del menu

Impostare le seguenti voci.

Quando il dispositivo di destinazione è il PDW-HR1

Voce	Impostazione
V INPUT sulla pagina P1 VIDEO del menu funzione	DVB-ASI
Voce secondaria TS i.LINK MODE della voce del menu di configurazione 926	**HDV:** impostare PROGRAM NUMBER su "00100" (impostazione predefinita). **Manual:** è possibile impostare PROGRAM NUMBER su qualsiasi numero di programma. **Nota** Questa voce non appare su sistemi 720P.
Voce secondaria PROGRAM NUMBER della voce del menu di configurazione 926	Impostare TS i.LINK MODE su "Manual" e specificare un numero di programma (da 1 a 65535 (FFFFh)).

Quando il dispositivo di destinazione è un dispositivo della serie XDS

Voce	Impostazione
F2: V INPUT sulla pagina P1 INPUT del menu funzione	DVB-ASI
Voce secondaria I/O MODE della voce del menu di configurazione 926	Imposta l'ingresso/l'uscita DVB-ASI. **input [in]:** modalità di ingresso fissa **output [out]:** modalità di uscita fissa
Voce secondaria TS MODE della voce del menu di configurazione 926	Seleziona la modalità TS (solo in modalità 59.94i/29.97P/50i/25P). **HDV:** modalità HDV **Manual [manu]:** modalità di velocità di codifica
Voce secondaria PROGRAM NUMBER della voce del menu di configurazione 926	Impostare TS MODE su "Manual" e specificare un numero di programma (decimale).

- Se si imposta V INPUT nella pagina P1 VIDEO del menu funzione su "DVB-ASI", anche da A1 INPUT a A4 INPUT nella pagina P2 AUDIO vengono automaticamente impostati su "DVB-ASI".
- Specificando un numero di programma con la voce secondaria PROGRAM NUMBER della voce del menu di configurazione 926, è possibile selezionare e ricevere un programma selezionato dai segnali DVB-ASI TS contenenti vari programmi multiplex.

Per utilizzare metadata multiplex in segnali DVB-ASI TS

Eseguire le impostazioni riportate di seguito in base al tipo di metadata.

Tipo di metadata	Impostazione
Codice temporale/ bit utente	**Quando il dispositivo di destinazione è il PDW-HR1** **Interruttore INT/EXT/SDI:** EXT o SDI Il generatore di codici temporali interno del dispositivo di destinazione esegue la sincronizzazione con i dati del codice temporale contenuti nel segnale TS.
	In caso di dispositivi della serie XDS Quando TCG a pagina TC del menu funzione è impostato su "EXT" o "SDI", il generatore di codici temporali interno si sincronizza sui dati dei codici temporali contenuti nel segnale TS.
Traccia di identificazione	Vengono registrate automaticamente, senza alcuna impostazione speciale. Se si tratta del PDW-HR1, per controllare i fotogrammi in cui sono impostate le tracce di identificazione, visualizzare la schermata delle miniature di capitolo.
Nome clip (solo PDW-HR1)	**Voce secondaria AUTO NAMING della voce del menu di configurazione 036:** ext Il nome clip viene registrato nei segnali TS sul punto di avvio della registrazione. Anche se durante la registrazione si modifica il nome clip nei segnali TS, tale modifica non viene applicata.
UMID	Viene registrato automaticamente, senza alcuna impostazione speciale.

Nota

Tra i tipi di metadata elencati in precedenza, la trasmissione delle informazioni relative alla traccia di identificazione ha la priorità rispetto alla trasmissione dei nomi clip. Se vi sono troppe informazioni relative alla traccia di identificazione da trasmettere, a volte potrebbe essere necessario trasmettere le informazioni sul nome clip.

Per emettere segnali DVB-ASI TS

Se si tratta del PDW-HR1, impostarlo in modalità di riproduzione.
Se si tratta di un dispositivo della serie XDS, impostare I/O MODE della voce del menu di configurazione 926 DVB-ASI SETTING su "output".

Per metadata multiplex in segnali in uscita DVB-ASI TS

Impostare la voce secondaria META PACKET OUT della voce del menu di configurazione 926 su "on".
Durante la riproduzione a velocità normale, i metadata registrati sul disco vengono trasmessi contemporaneamente ai dati video e audio.
Durante la riproduzione di immagini statiche e la riproduzione a velocità variabile, viene trasmesso solo il

codice temporale. Gli altri metadata non vengono trasmessi.

Nota

Se si tratta del PDW-HR1, se la voce secondaria TS i.LINK MODE della voce del menu di configurazione 926 è impostata su “HDV”, i metadata diversi dai dati del codice temporale non vengono trasmessi.
Se si tratta di un dispositivo della serie XDS, se la voce secondaria TS MODE della voce del menu di configurazione 926 è impostata su “HDV”, i metadata diversi dai dati del codice temporale non vengono trasmessi.

Impostazioni aggiuntive del menu di funzione

Quando il dispositivo di destinazione è il PDW-HR1

Quando questa scheda è installata nel PDW-HR1, nel menu di funzione appaiono le impostazioni sottolineate nelle seguenti tabelle.

Per maggiori informazioni circa le operazioni del menu di funzione, fare riferimento al Capitolo 3 “Preparazione” nel Manuale di instruzione del PDW-HR1.

Pagina P1 VIDEO

Voce	Impostazione
F1: V INPUT	Seleziona il segnale di ingresso video. **HDSDI:** segnale HDSDI **SDSDI:** segnale SDSDI **CMPST:** segnale composito **i.LINK:** segnale i.LINK **DVB-ASI:** segnale DVB-ASI **SG:** segnale di prova proveniente dal generatore di segnale interno

Note

- Quando si seleziona “i.LINK”, l’uscita HDSDI e l’uscita SDSDI nella modalità E-E del PDW-HR1 non sono garantite. I segnali DVB-ASI TS non vengono emessi nella modalità REC o nella modalità E-E.
- Se si seleziona “DVB-ASI”, i segnali DVB-ASI TS e i.LINK TS non vengono emessi, indipendentemente dalla modalità operativa del PDW-HR1.

Pagina P2 AUDIO

<table>
<tr><th>Voce</th><th colspan="2">Impostazione</th></tr>
<tr><td rowspan="6">F1: AU INPUT</td><td colspan="2">Seleziona il segnale di ingresso audio da assegnare ai canali audio da 1 a 8.
SDI: segnale audio integrato nel segnale SDI
ANALOG1: segnale audio analogico 1
SG: segnale di prova dal generatore di segnali interno
i.LINK: segnale i.LINK
DVB-ASI: segnale DVB-ASI</td></tr>
<tr><td colspan="2">Voci secondarie</td></tr>
<tr><td>F1: A1 INPUT (A5 INPUT)</td><td>Segnale di ingresso del canale audio 1 (5)</td></tr>
<tr><td>F2: A2 INPUT (A6 INPUT)</td><td>Segnale di ingresso del canale audio 2 (6)</td></tr>
<tr><td>F3: A3 INPUT (A7 INPUT)</td><td>Segnale di ingresso del canale audio 3 (7)</td></tr>
<tr><td>F4: A4 INPUT (A8 INPUT)</td><td>Segnale di ingresso del canale audio 4 (8)</td></tr>
</table>

Nota

Se si imposta V INPUT nella pagina P1 VIDEO del menu funzione su “i.LINK” o “DVB-ASI”, anche da A1 INPUT a A4 INPUT nella pagina P2 AUDIO vengono automaticamente impostati su “i.LINK” o “DVB-ASI”. Inoltre, non è possibile impostare segnali di ingresso audio su un tipo diversoda quello dei segnali di ingresso video.

Quando il dispositivo di destinazione è un dispositivo della serie XDS

Quando questa scheda è installata su un dispositivo della serie XDS e DVB-ASI della voce del menu di manutenzione M22: OPTION SETTING è impostato su “on”, “DVB-ASI” viene aggiunto alla pagina P1 INPUT e alla pagina P2 INPUT del menu funzione. “i.LINK” non viene visualizzato.

Per maggiori informazioni sul dispositivo della serie XDS, fare riferimento a “Operazioni di base del menu funzione” nel Manuale di istruzioni in dotazione con il dispositivo.

Articoli aggiuntivi del menu di configurazione

Quando il dispositivo di destinazione è il PDW-HR1

Quando questa scheda è installata nel PDW-HR1, nel menu di configurazione appaiono gli articoli del menu mostrati nella seguente tabella. (L’impostazione “ext” viene aggiunta alla voce secondaria AUTO NAMING della voce del menu 036 FILE NAMING.)
Nella colonna della tabella chiamata “Impostazioni”, è sottolineata l’impostazione di default.

Per maggiori informazioni circa le operazioni del menu di configurazione, fare riferimento al Capitolo 8 “Menu” nel manuale di instruzione del PDW-HR1.

<table>
<tr><th>Numero voce</th><th colspan="2">Nome voce</th><th>Impostazioni</th></tr>
<tr><td rowspan="3">036</td><td colspan="2">FILE NAMING</td><td rowspan="2">Specificare se consentire l’uso di clip e file lista di clip con nomi definiti dall’utente.</td></tr>
<tr><td colspan="2">Voci secondarie</td></tr>
<tr><td>2</td><td>AUTO NAMING</td><td>Quando si seleziona “free” per la voce secondaria “NAMING FORM”, è possibile specificare se utilizzarlo come nome clip.
ext: nome clip nel segnale DVB-ASI</td></tr>
<tr><td>831</td><td colspan="2">TS OUT AUDIO MODE</td><td>Selezionare il numero di canali di uscita audio dei segnali DVB-ASI TS e i.LINK TS (HDV).
2ch: 2 canali
4ch: 4 canali</td></tr>
</table>

Numero voce	Nome voce		Impostazioni
926	DVB-ASI SETTING		Imposta i parametri per l'uscita DVB-ASI e specifica il numero del programma da ricevere quando si immettono segnali DVB-ASI.
	Voci secondarie		
	1	TS i.LINK MODE	Seleziona la modalità TS i.LINK. **<u>HDV</u>:** Modalità HDV Quando viene selezionata questa modalità, viene disabilitata l'impostazione "Manual". **Manual:** Modalità velocità di codifica **Quando il formato video è 720P** • Questa voce non viene visualizzata. • Dal connettore (i.LINK) HDV TS non viene emesso alcun segnale.
	2	ENC RATE (Mbps)	Imposta la velocità di codifica. **<u>25.00</u>:** Imposta la velocità di codifica. **---:** Quando la voce secondaria TS i.LINK MODE della voce del menu 926 è impostata su "HDV". È possibile effettuare l'impostazione in unità da 0,01 Mbps (o 0,20 Mbps quando si tiene premuto il tasto SHIFT) su una gamma da 15,00 Mbps a 43,25 Mbps.
	3	RESOLUTION	Seleziona il numero di pixel orizzontali per il formato 1080i. **<u>1440</u>:** 1440 Quando la voce secondaria TS i.LINK MODE della voce del menu 926 è impostata su "HDV", questa viene impostata a "1440". **1920:** 1920 L'impostazione 1920 viene abilitata quando la velocità di codifica è di 35,00 Mbps o superiore. **Nota** Questa voce non viene visualizzata quando il formato video è 720P.
926	4	PROGRAM NUMBER	Specifica un numero di programma del segnale di ingresso/uscita. **<u>00100</u>:** Imposta il numero del programma (da 1 a 65535 (FFFFh)). **---:** Quando la voce secondaria TS i.LINK MODE della voce del menu 926 è impostata su "HDV". È possibile effettuare l'impostazione in unità di 1 (o di 200 quando si mantiene premuto il tasto SHIFT).
	5	OUTPUT MODE	Seleziona la modalità di trasmissione. **<u>Packt</u>:** Modalità pacchetto **Burst:** Modalità suddividi
	6	PACKET LENGTH	Seleziona la lunghezza del pacchetto. **<u>188 Byte</u>:** 188 byte **204 Byte:** 204 byte
	7	META PACKET OUT	Specifica l'uscita dei pacchetti di metadata dei segnali DVB-ASI. **<u>off</u>:** nessuna emissione di pacchetti di metadata. **on:** emissione di pacchetti di metadata. **---:** Quando la voce secondaria TS i.LINK MODE della voce del menu 926 è impostata su "HDV".
	8	PID(PMT)	Modifica il valore PID dei pacchetti PMT per l'uscita DVB-ASI. **<u>0081h</u>:** impostare il valore PID. **---:** Quando la voce secondaria TS i.LINK MODE della voce del menu 926 è impostata su "HDV". È possibile regolare il valore entro la gamma da 0030h a 1FFEh in un'unità di 1h (o in unità di 20h, quando si tiene premuto il pulsante SHIFT). **Nota** Non impostare lo stesso valore PID delle altre voci.

Numero voce	Nome voce		Impostazioni
926	9	PID(PCR)	Modifica il valore PID dei pacchetti PCR per l'uscita DVB-ASI. **0134h:** impostare il valore PID. **---:** Quando la voce secondaria TS i.LINK MODE della voce del menu 926 è impostata su "HDV". È possibile regolare il valore entro la gamma da 0030h a 1FFEh in un'unità di 1h (o in unità di 20h, quando si tiene premuto il pulsante SHIFT). **Nota** Non impostare lo stesso valore PID delle altre voci.
	10	PID(VIDEO)	Modifica il valore PID dei pacchetti VIDEO per l'uscita DVB-ASI. **0810h:** impostare il valore PID. **---:** Quando la voce secondaria TS i.LINK MODE della voce del menu 926 è impostata su "HDV". È possibile regolare il valore entro la gamma da 0030h a 1FFEh in un'unità di 1h (o in unità di 20h, quando si tiene premuto il pulsante SHIFT). **Nota** Non impostare lo stesso valore PID delle altre voci.
	11	PID(AUDIO)	Modifica il valore PID dei pacchetti AUDIO per l'uscita DVB-ASI. **0814h:** impostare il valore PID. **---:** Quando la voce secondaria TS i.LINK MODE della voce del menu 926 è impostata su "HDV". È possibile regolare il valore entro la gamma da 0030h a 1FFEh in un'unità di 1h (o in unità di 20h, quando si tiene premuto il pulsante SHIFT). **Nota** Non impostare lo stesso valore PID delle altre voci.
	12	PID(AUX1)	Modifica il valore PID dei pacchetti AUX1 per l'uscita DVB-ASI. **0815h:** impostare il valore PID. **---:** Quando la voce secondaria TS i.LINK MODE della voce del menu 926 è impostata su "HDV". È possibile regolare il valore entro la gamma da 0030h a 1FFEh in un'unità di 1h (o in unità di 20h, quando si tiene premuto il pulsante SHIFT). **Nota** Non impostare lo stesso valore PID delle altre voci.
	13	PID(AUX2)	Modifica il valore PID dei pacchetti AUX2 per l'uscita DVB-ASI. **0811h:** impostare il valore PID. **---:** Quando la voce secondaria TS i.LINK MODE della voce del menu 926 è impostata su "HDV". È possibile regolare il valore entro la gamma da 0030h a 1FFEh in un'unità di 1h (o in unità di 20h, quando si tiene premuto il pulsante SHIFT). **Nota** Non impostare lo stesso valore PID delle altre voci.

Quando il dispositivo di destinazione è un dispositivo della serie XDS

Quando si installa questa scheda nel dispositivo della serie XDS, la voce del menu 831 TS OUT AUDIO MODE e la voce del menu 926 DVB-ASI SETTING vengono aggiunte al sistema del menu di configurazione del dispositivo. La voce del menu 036 non viene aggiunta.

Per maggiori informazioni sul dispositivo della serie XDS, fare riferimento a "Menu configurazione" nel Manuale di istruzioni in dotazione con il dispositivo.

Note relative alle connessioni i.LINK (solo PDW-HR1)

- Controllare che i connettori siano orientati correttamente prima di collegare un cavo i.LINK al vostro computer o al PDW-HR1. Forzare un connettore non orientato correttamente potrebbe danneggiare il connettore o il PDW-HR1.
- Collegare il cavo i.LINK al vostro computer prima di collegarlo al PDW-HR1. Se il cavo viene collegato prima al PDW-HR1, l'elettricità statica potrebbe danneggiare il PDW-HR1.
- Prima di collegare o scollegare un cavo i.LINK tra il PDW-HR1 e un'altra apparecchiatura a un connettore i.LINK, spegnere sempre il PDW-HR1 e l'apparecchiatura a esso collegata e scollegare tutte le prese di rete dai relativi attacchi.
  L'inserimento o la rimozione di un connettore i.LINK con le prese di rete ancora collegate rischia di determinare una scarica dannosa di alimentazione ad alto voltaggio dal connettore i.LINK dell'apparecchiatura al PDW-HR1.
- Una scarica dannosa di alimentazione ad alto voltaggio può passare dal connettore i.LINK dell'apparecchiatura collegata al PDW-HR1 anche quando un cavo i.LINK separato è collegato a un altro connettore i.LINK dell'apparecchiatura, ad esempio collegando un disco fisso ad un computer con scheda di interfaccia i.LINK che fornisce connettori multipli.
  Prima di collegare un cavo i.LINK, spegnere sempre tutte le apparecchiature e scollegare tutte le prese di rete dai relativi attacchi, sia sul PDW-HR1 che sul computer collegato e le sue periferiche.
- Prima di accendere o spegnere l'interruttore di alimentazione del PDW-HR1, arrestare sempre le operazioni delle apparecchiature collegate all'interfaccia i.LINK.
- Se la trasmissione del segnale MPEG TS non è possibile quando il PDW-HR1 è acceso, spegnere l'interruttore di alimentazione del PDW-HR1 e quindi accenderlo di nuovo.

Caratteristiche tecniche

Generale

Alimentazione e consumo
+5,8 V, 0,1 A
+3,3 V, 0,7 A
+2,5 V, 0,5 A
(Alimentazione fornita da quello che dispositivo di destinazione.)

Dimensioni (p/a) 102 × 86 mm
Peso Circa 54 g

Formati di stream

Codec video

DVB-ASI	MPEG-2 MP@HL
	MPEG-2 MP@H-14
i.LINK	MPEG-2 MP@H-14

Risoluzione video/frequenza del sistema

1440 × 1080	59,94i, 50i, 29,97P, 25P
1920 × 1080	59,94i, 50i, 29,97P, 25P
1280 × 720	59,94P, 50P

Gamma di selezione velocità bit

Da 15,00 Mbps a 43,25 Mbps (in intervalli di 0,01 Mbps)

Audio

MPEG-1 Layer 2	2 canali, 48 kHz, 384 kbps
MPEG-2 Layer 2	4 canali, 48 kHz, 384 kbps

Accessori in dotazione

Vite di fissaggio (4)
Istruzioni per l'uso e per l'installazione (1)
Manuale di installazione (1)

Il design e le caratteristiche tecniche sono soggetti a modifiche senza preavviso.

Nota
Verificare sempre che l'apparecchio stia funzionando correttamente prima di usarlo. LA SONY NON SARÀ RESPONSABILE DI DANNI DI QUALSIASI TIPO, COMPRESI, MA SENZA LIMITAZIONE A, RISARCIMENTI O RIMBORSI A CAUSA DELLA PERDITA DI PROFITTI ATTUALI O PREVISTI DOVUTA A GUASTI DI QUESTO APPARECCHIO, SIA DURANTE IL PERIODO DI VALIDITÀ DELLA GARANZIA SIA DOPO LA SCADENZA DELLA GARANZIA, O PER QUALUNQUE ALTRA RAGIONE.

Antes de poner en funcionamiento la unidad, lea detenidamente este manual y consérvelo para referencias futuras.

Para los clientes de Europa

Este producto con marcado CE cumple con las directivas de compatibilidad electromagnética de la Comisión Europea.
El cumplimiento de estas directivas implica la conformidad con los siguientes estándares europeos:
- EN55103-1: Interferencia electromagnética (Emisión)
- EN55103-2: Susceptibilidad electromagnética (Inmunidad)

Este producto ha sido diseñado para utilizarse en los entornos electromagnéticos siguientes: E1 (zona residencial), E2 (zona comercial e industrial ligera), E3 (exteriores urbanos), y E4 (entorno con EMC controlada, p. ej., estudio de televisión).

El fabricante de este producto es Sony Corporation, con dirección en 1-7-1 Konan, Minato-ku, Tokio, Japón.
El Representante autorizado para EMC y seguridad del producto es Sony Deutschland GmbH, Hedelfinger Strasse 61, 70327 Stuttgart, Alemania.

Precauciones

Si esta unidad no se instala correctamente, se podrían producir lesiones personales o daños en los elementos periféricos como consecuencia de incendios, descargas eléctricas y otras circunstancias accidentales. Con el objetivo de evitar estos riesgos, la instalación debe ser realizada por técnicos de mantenimiento cualificados.

Para el técnico que instale la unidad

Para obtener instrucciones de instalación, consulte el INSTALLATION MANUAL (manual de instalación) suministrado con esta unidad.

Nota

Asegúrese de apagar la PDW-HR1 o el dispositivo de la serie XDS antes de instalar esta placa.

Descripción general

La placa MPEG TS PDBK-202 (en adelante, “esta placa”) es una placa opcional para instalar en la estación portátil Sony PDW-HR1 Professional Disc Field Station o en la estación de la serie XDS Professional Media Station.
Las principales características de esta tarjeta son las siguientes.

Cuando esta placa está instalada en la PDW-HR1, puede introducir señales MPEG TS [1)] (conforme a IEEE 1394, barrido progresivo y entrelazado) compatibles con el formato HDV [2)] 1080i [3)], y grabar estas señales en XDCAM Professional Disc.
También podrá reproducir XDCAM Professional Disc y emitir señales MPEG TS (conforme a IEEE 1394, barrido progresivo y entrelazado) compatibles con el formato HDV 1080i, y señales DVB-ASI TS.
Si instala esta placa en un dispositivo de la serie XDS, se podrán recibir/emitir señales DVB-ASI TS desde el dispositivo.

Nota

La serie XDS no es compatible con i.LINK.

1) MPEG TS: Flujos de transporte MPEG-2 que contienen vídeo MPEG, audio MPEG e información de control. Ésta es la interfaz estándar para equipos HDV.
2) HDV y HDV son marcas comerciales de Sony Corporation y Victor Company of Japan, Limited.
3) HDV 1080i: Se refiere a los dispositivos que cumplen el “estándar HDV 1080i” para grabación de señales HD en cinta DV. Es compatible con HDV 1080/59.94i o 1080/29.97P y HDV 1080/50i o 1080/25P.

Acerca del manual de instrucciones

Consulte el manual de instrucciones del dispositivo en el que instale la placa (en adelante, “dispositivo meta”).
PDW-HR1: 1ª edición
XDS-1000: 1ª edición (revisión 1)
XDS-PD1000/PD2000: 1ª edición

Lo que sigue es información adicional que se deberá añadir al manual citado anteriormente cuando esta tarjeta se haya instalado en la PDW-HR1 o dispositivo de la serie XDS.

Cuando el dispositivo meta es la PDW-HR1

Notas

- Esta tarjeta no puede grabar señales DV.
- No hay salida de i.LINK (TS) cuando el formato de vídeo es 720P.
- Si, tras editar material con un editor no lineal conectado a la PDW-HR1, desea volver a escribir el material en un disco PDW-HR1, entonces ajuste la opción F2: PB/EE de la página HOME del menú de funciones en “EE”.
- Para actualizar los materiales desde la PDW-HR1 en un editor no lineal, ajuste F2: PB/EE en la página HOME del menú de funciones en “PB”.

Comprobar versiones de software

Asegúrese de que la versión de software de la PDW-HR1 es 2.0 o superior y de que la versión de software del dispositivo de la serie XDS es 1.1 o superior.

También puede comprobar las versiones de software con el elemento M30: VERSIÓN DE SOFTWARE del menú de mantenimiento. Para obtener más información, consulte “Menú de mantenimiento” en el Manual de funcionamiento del dispositivo meta.

Si las versiones de software de esta placa y del dispositivo meta no coinciden

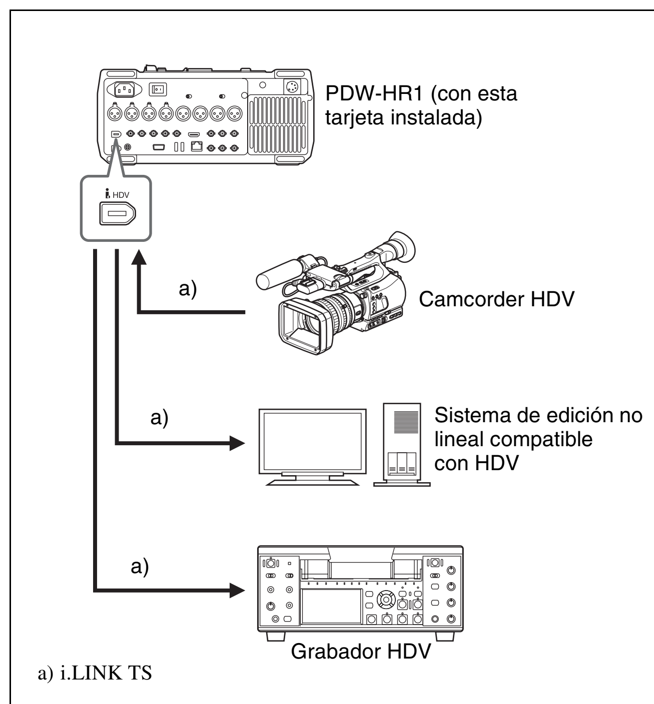
Cuando encienda el dispositivo meta inmediatamente después de instalar esta placa, puede aparecer el código de error “ERROR 95-119” y “ERROR 95-419”. Esto no es un error de funcionamiento.
Realice el procedimiento de actualización del dispositivo meta a la versión más actual del paquete de software con esta placa instalada en el dispositivo.
Se actualizan tanto el dispositivo meta como esta placa.

Para obtener más información sobre cómo actualizar el software, póngase en contacto con su distribuidor de Sony o con un representante de mantenimiento de Sony.

Ejemplos de configuración del sistema

Las siguientes ilustraciones muestran ejemplos de sistemas.

Ejemplos de uso con entrada y salida i.LINK TS (PDW-HR1 únicamente)



a) i.LINK TS

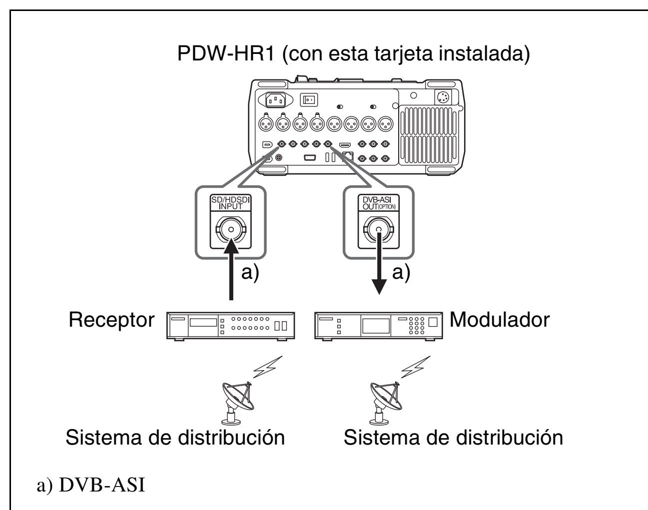
Nota

Antes de conectar una videocámara o grabador HDV mediante una cable i.LINK, configure la videocámara o grabador para recibir/emitir señales HDV a través de la interfaz i.LINK.

Para más información sobre los ajustes de la interfaz i.LINK, consulte el manual de instrucciones de la videocámara o grabador HDV.

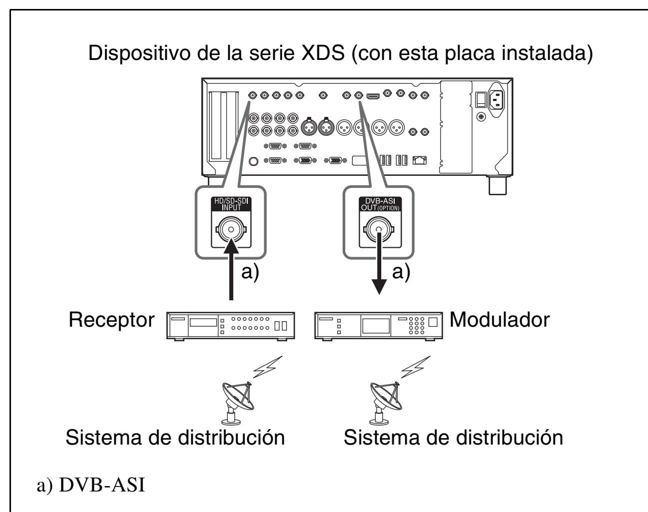
Ejemplos de uso con entrada y salida DVB-ASI

Cuando el dispositivo meta es la PDW-HR1



a) DVB-ASI

Cuando el dispositivo meta es un dispositivo de la serie XDS



a) DVB-ASI

Para entrada de señales DVB-ASI TS

Utilice el conector de entrada de señal DVB-ASI TS en el dispositivo meta *(consulte la figura anterior)*.

PDW-HR1: conector SD/HDSDI INPUT

Dispositivo de la serie XDS: conector HD/SD-SDI INPUT

Señales de entrada DVB-ASI TS compatibles (PDW-HR1 únicamente)

La compatibilidad se limita a las señales DVB-ASI TS emitidas por los dispositivos XDCAM opcionales (como el HDCA-702) compatibles con la transmisión transport stream MPEG-2.

Ajustes del menú

Ajuste los siguientes elementos.

Cuando el dispositivo meta es la PDW-HR1

Opción	Ajuste
V INPUT en la página P1 VIDEO del menú de funciones	DVB-ASI
Subelemento TS i.LINK MODE del elemento 926 del menú de configuración	**HDV:** Ajuste PROGRAM NUMBER a "00100" (configuración predeterminada). **Manual:** Puede ajustar PROGRAM NUMBER a cualquier número de programa. **Nota** Este elemento no aparece en los sistemas 720P.
Subelemento PROGRAM NUMBER del elemento 926 del menú de configuración	Ajuste TS i.LINK MODE a "Manual" y especifique un número de programa (1 a 65535 (FFFFh)).

Cuando el dispositivo meta es un dispositivo de la serie XDS

Opción	Ajuste
F2: V INPUT en la página P1 INPUT del menú de funciones	DVB-ASI
Subelemento I/O MODE del elemento 926 del menú de configuración	Ajusta la entrada/salida de DVB-ASI. **input [in]:** modo de entrada fijo **output [out]:** modo de salida fijo
Subelemento TS MODE del elemento 926 del menú de configuración	Selecciona el modo TS. (modo 59.94i/29.97P/50i/25P únicamente.) **HDV:** modo HDV **Manual [manu]:** modo de velocidad de codificación
Subelemento PROGRAM NUMBER del elemento 926 del menú de configuración	Ajuste TS MODE a "Manual" y especifique el número de programa (decimal).

- Si ajusta V INPUT en la página P1 VIDEO del menú de funciones a "DVB-ASI" y, a continuación, A1 INPUT a A4 INPUT en la página P2 AUDIO se ajustan automáticamente a "DVB-ASI".
- Al especificar un número de programa con el subelemento PROGRAM NUMBER del elemento 926 del menú de configuración, es posible seleccionar y recibir un programa específico de las señales DVB-ASI TS que contienen multitud de programas múltiples.

Para utilizar metadatos múltiples en señales DVB-ASI TS

Realice los ajustes que se muestran a continuación según el tipo de metadatos.

Tipo de metadatos	Ajuste
Bits de código de tiempo/usuario	**Cuando el dispositivo meta es la PDW-HR1** **Interruptor INT/EXT/SDI:** EXT o SDI El generador de código de tiempo interno del dispositivo meta sincroniza los datos de código de tiempo contenidos en la señal TS.
	En el caso de un dispositivo de la serie XDS Cuando la opción TCG de la página TC del menú de funciones se ajusta a "EXT" o "SDI", el generador de código de tiempo interno se sincroniza con los datos de código de tiempo contenidos en la señal TS.
Marca de escenas	Se registran automáticamente, sin necesidad de realizar ajustes especiales. En el caso de la PDW-HR1, para comprobar la existencia de marcos en los que se ajustan las marcas de escenas, visualice la pantalla en miniatura de los capítulos.
Nombre de clip (PDW-HR1 únicamente)	**Subelemento AUTO NAMING del elemento 036 del menú de configuración:** ext El nombre de clip se registra en señales TS en el punto de inicio del registro. Ni siquiera se refleja el cambio de nombre de clip si se modifica el nombre de clip en las señales TS durante el registro.
UMID	Se registra automáticamente, sin necesidad de realizar ajustes especiales.

Nota

Entre los tipos de metadatos que se muestran en la lista que aparece arriba, la transmisión de la información de las marcas de escenas tiene prioridad con respecto a la transmisión de los nombres de clips. Si hay que transmitir demasiada información de las marcas de escenas, puede que sea necesario algo de tiempo para transmitir la información del nombre de clip.

Para salida de señales DVB-ASI TS

En el caso de la PDW-HR1, póngala en modo de reproducción.
En el caso de un dispositivo de la serie XDS, ajuste I/O MODE del elemento 926 del menú de configuración DVB-ASI SETTING a "output".

Para utilizar metadatos múltiples en las señales de salida DVB-ASI TS

Ajuste el subelemento META PACKET OUT del elemento 926 del menú de configuración a "on".

Durante la reproducción a velocidad normal, los metadatos grabados en el disco se transmiten a la vez como datos de vídeo y datos de sonido.
Durante la reproducción de imágenes fijas y la reproducción a velocidad variable, sólo se transmite el código de tiempo. No se transmiten otros metadatos.

Nota

En el caso de la PDW-HR1, si el subelemento TS i.LINK MODE del elemento 926 del menú de configuración está ajustado en "HDV", no se transmitirán los metadatos distintos de los datos de código de tiempo.
En el caso del dispositivo de la serie XDS, si el subelemento TS MODE del elemento 926 del menú de configuración está ajustado en "HDV", no se transmitirán los metadatos distintos de los datos de código de tiempo.

Ajustes del menú de funciones adicionales

Cuando el dispositivo meta es la PDW-HR1

Cuando esta tarjeta esté instalada en la PDW-HR1, en el menú de funciones aparecerán los ajustes subrayados en las siguientes tablas.

Para obtener más información acerca del funcionamiento del menú de funciones, consulte el Capítulo 3 "Preparación" en el manual de instrucciones de la PDW-HR1.

Página P1 VIDEO

Opción	Ajuste
F1: V INPUT	Selecciona la señal de entrada de vídeo. **HDSDI:** señal HDSDI **SDSDI:** señal SDSDI **CMPST:** señal compuesta **i.LINK:** señal i.LINK **DVB-ASI:** señal DVB-ASI **SG:** señal de prueba del generador de señal interna

Notas

- Cuando se seleccione "i.LINK", no se garantiza la salida HDSDI y la salida SDSDI del modo E-E de la PDW-HR1. Las señales DVB-ASI TS no se emiten en el modo REC o en el modo E-E.
- Si selecciona "DVB-ASI", las señales DVB-ASI TS y i.LINK TS no salen a pesar del modo de funcionamiento de la PDW-HR1.

Página P2 AUDIO

<table>
<tr><th>Opción</th><th colspan="2">Ajuste</th></tr>
<tr><td rowspan="6">F1: AU INPUT</td><td colspan="2">Selecciona la señal de entrada de audio que asignar a los canales de audio 1 a 8.
SDI: señal de audio incrustada en la señal SDI
ANALOG1: señal de audio Analog 1
SG: señal de prueba del generador interno de señales
i.LINK: señal i.LINK
DVB-ASI: señal DVB-ASI</td></tr>
<tr><td colspan="2">Subopción</td></tr>
<tr><td>F1: A1 INPUT (A5 INPUT)</td><td>Señal de entrada del canal de audio 1 (5)</td></tr>
<tr><td>F2: A2 INPUT (A6 INPUT)</td><td>Señal de entrada del canal de audio 2 (6)</td></tr>
<tr><td>F3: A3 INPUT (A7 INPUT)</td><td>Señal de entrada del canal de audio 3 (7)</td></tr>
<tr><td>F4: A4 INPUT (A8 INPUT)</td><td>Señal de entrada del canal de audio 4 (8)</td></tr>
</table>

Nota

Si ajusta V INPUT en la página P1 VIDEO del menú de funciones a “i.LINK” o “DVB-ASI”, a continuación, A1 INPUT a A4 INPUT en la página P2 AUDIO se ajustan automáticamente a “i.LINK” o “DVB-ASI”. Asimismo, no es posible ajustar las señales de entrada de sonido a un tipo que difiere del tipo de las señales de entrada de vídeo.

Cuando el dispositivo meta es un dispositivo de la serie XDS

Cuando esta placa está instalada en un dispositivo de la serie XDS y DVB-ASI de la opción M22 del menú de mantenimiento: OPTION SETTING está ajustado en “on”, se añade “DVB-ASI” a la página P1 INPUT y a la página P2 INPUT del menú de funciones. No se visualiza “i.LINK”.

Para obtener más información acerca del dispositivo de la serie XDS, consulte “Operaciones básicas del menú de funciones” del Manual de funcionamiento suministrado con el dispositivo.

Elementos del menú de configuración adicionales

Cuando el dispositivo meta es la PDW-HR1

Cuando esta tarjeta esté instalada en la PDW-HR1, en el menú de configuración aparecerán los elementos del menú que se muestran en la siguiente tabla. (El ajuste “ext” se añade al subelemento AUTO NAMING del elemento 036 FILE NAMING del menú.)
En la columna “Ajustes” de la tabla, se destaca la configuración por defecto.

Para obtener más información acerca del funcionamiento del menú de configuración, consulte el Capítulo 8 “Menús” en el manual de instrucciones de la PDW-HR1.

Número de opción	Nombre de la opción		Ajustes
036	FILE NAMING		Especifique si permite utilizar archivos de clip o archivos de listas de clips con nombres definidos por el usuario.
	Subopción		
	2	AUTO NAMING	Al seleccionar “libre” en el subelemento “NAMING FORM”, le permite especificar el nombre que quiere utilizar para el clip. **ext:** Nombre de clip en señal DVB-ASI
831	TS OUT AUDIO MODE		Seleccione el número de canales de salida de audio para las señales DVB-ASI TS y i.LINK TS (HDV). **2ch:** 2 canales **4ch:** 4 canales

Número de opción	Nombre de la opción		Ajustes
926	DVB-ASI SETTING		Ajusta los parámetros de salida de DVB-ASI y especifica el número del programa para recibir las señales DVB-ASI cuando entran.
	Subopción		
	1	TS i.LINK MODE	Selecciona el modo TS i.LINK. **HDV:** Modo HDV Cuando se selecciona este modo, el ajuste "Manual" está desactivado. **Manual:** Modo de frecuencia de codificación **Cuando el formato de vídeo es 720P** • Esta opción no aparece. • No se envía ninguna señal desde el conector (i.LINK) HDV TS.
	2	ENC RATE (Mbps)	Ajusta la frecuencia de codificación. **25.00:** Ajusta la frecuencia de codificación. **---:** Cuando la subopción TS i.LINK MODE de la opción del menú 926 está ajustada en "HDV". Puede ajustar esto en pasos de 0,01 Mbps (o 0,20 Mbps cuando el botón SHIFT está pulsado) en un rango de 15,00 Mbps a 43,25 Mbps.
	3	RESOLUTION	Selecciona el número de píxeles horizontales para el formato 1080i. **1440:** 1440 Cuando la subopción TS i.LINK MODE de la opción del menú 926 está ajustada en "HDV", esta opción viene fijada en "1440". **1920:** 1920 El ajuste 1920 está habilitado cuando la frecuencia de codificación está en 35,00 Mbps o superior. **Nota** Esta opción no aparece cuando el formato de vídeo es 720P.
926	4	PROGRAM NUMBER	Especifica un número de programa de señal de entrada/salida DVB-ASI. **00100:** Ajusta el número de programa (1 a 65535 (FFFFh)). **---:** Cuando la subopción TS i.LINK MODE de la opción del menú 926 está ajustada en "HDV". Puede ajustar esta opción en pasos de 1 (o 200 cuando el botón SHIFT está pulsado).
	5	OUTPUT MODE	Selecciona el modo de salida. **Packt:** Modo de paquete **Burst:** Modo de burst
	6	PACKET LENGTH	Selecciona el modo de transmisión. **188 Byte:** 188 bytes **204 Byte:** 204 bytes
	7	META PACKET OUT	Especifica la salida de los paquetes de metadatos de señales DVB-ASI. **off:** no envía paquetes de metadatos. **on:** envía paquetes de metadatos. **---:** cuando la subopción TS i.LINK MODE de la opción del menú 926 está ajustada en "HDV".
	8	PID(PMT)	Cambia el valor de PID del paquete PMT para la salida de DVB-ASI. **0081h:** ajuste del valor PID. **---:** cuando la subopción TS i.LINK MODE de la opción del menú 926 está ajustada en "HDV". Puede ajustar el valor en un rango de 0030h a 1FFEh en unidades de 1h (o en unidades de 20h, cuando el botón SHIFT se mantiene pulsado). **Nota** No ajuste el mismo valor PID que otros elementos.

Número de opción	Nombre de la opción		Ajustes
926	9	PID(PCR)	Cambia el valor de PID del paquete PCR para la salida de DVB-ASI. **0134h:** ajuste del valor PID. **---:** cuando la subopción TS i.LINK MODE de la opción del menú 926 está ajustada en “HDV”. Puede ajustar el valor en un rango de 0030h a 1FFEh en unidades de 1h (o en unidades de 20h, cuando el botón SHIFT se mantiene pulsado). **Nota** No ajuste el mismo valor PID que otros elementos.
	10	PID(VIDEO)	Cambia el valor de PID del paquete VIDEO para la salida de DVB-ASI. **0810h:** ajuste del valor PID. **---:** cuando la subopción TS i.LINK MODE de la opción del menú 926 está ajustada en “HDV”. Puede ajustar el valor en un rango de 0030h a 1FFEh en unidades de 1h (o en unidades de 20h, cuando el botón SHIFT se mantiene pulsado). **Nota** No ajuste el mismo valor PID que otros elementos.
	11	PID(AUDIO)	Cambia el valor de PID del paquete AUDIO para la salida de DVB-ASI. **0814h:** ajuste del valor PID. **---:** cuando la subopción TS i.LINK MODE de la opción del menú 926 está ajustada en “HDV”. Puede ajustar el valor en un rango de 0030h a 1FFEh en unidades de 1h (o en unidades de 20h, cuando el botón SHIFT se mantiene pulsado). **Nota** No ajuste el mismo valor PID que otros elementos.
926	12	PID(AUX1)	Cambia el valor de PID del paquete AUX1 para la salida de DVB-ASI. **0815h:** ajuste del valor PID. **---:** cuando la subopción TS i.LINK MODE de la opción del menú 926 está ajustada en “HDV”. Puede ajustar el valor en un rango de 0030h a 1FFEh en unidades de 1h (o en unidades de 20h, cuando el botón SHIFT se mantiene pulsado). **Nota** No ajuste el mismo valor PID que otros elementos.
	13	PID(AUX2)	Cambia el valor de PID del paquete AUX2 para la salida de DVB-ASI. **0811h:** ajuste del valor PID. **---:** cuando la subopción TS i.LINK MODE de la opción del menú 926 está ajustada en “HDV”. Puede ajustar el valor en un rango de 0030h a 1FFEh en unidades de 1h (o en unidades de 20h, cuando el botón SHIFT se mantiene pulsado). **Nota** No ajuste el mismo valor PID que otros elementos.

Cuando el dispositivo meta es un dispositivo de la serie XDS

Cuando instala esta placa en el dispositivo de la serie XDS, la opción 831 TS OUT AUDIO MODE y la opción 926 DVB-ASI SETTING se añaden al sistema del menú de configuración del dispositivo. Tenga en cuenta que la opción 036 no se añade.

Para obtener más información acerca del dispositivo de la serie XDS, consulte “Menú de configuración” del Manual de funcionamiento suministrado con el dispositivo.

Notas sobre las conexiones i.LINK (PDW-HR1 únicamente)

- Compruebe que los conectores están orientados correctamente antes de conectar un cable i.LINK al ordenador o a la PDW-HR1. Si intenta forzar un conector que no esté orientado correctamente, podría dañar el conector o la PDW-HR1.
- Conecte el cable i.LINK al ordenador antes de conectarlo a la PDW-HR1. Si conecta el cable antes a la PDW-HR1, ésta podría dañarse debido a la electricidad estática.
- Antes de conectar o desconectar un cable i.LINK entre la PDW-HR1 y otro equipo con un conector i.LINK, apague siempre tanto la PDW-HR1 como el equipo conectado y desconecte todos los enchufes de sus tomas de corriente.
  Si los enchufes siguen conectados e inserta o extrae un conector i.LINK, podrían producirse daños debidos a una sobrecarga de alto voltaje que pasaría del conector i.LINK del equipo a la PDW-HR1.
- Aún cuando se conecta un cable i.LINK independiente a otro conector i.LINK del equipo, podría producirse una sobrecarga de alto voltaje en la PDW-HR1 procedente del conector i.LINK. Por ejemplo, al conectar un disco duro a un ordenador con una tarjeta de interfaz i.LINK que proporciona múltiples conectores.
  Apague siempre todos los equipos y desconecte todos los enchufes de las tomas de corriente, tanto en la PDW-HR1 como en el ordenador conectado y sus periféricos, antes de conectar un cable i.LINK.
- Antes de encender o apagar el interruptor POWER del PDW-HR1, detenga siempre el funcionamiento de los equipos conectados a la interfaz i.LINK.
- Si no es posible la transmisión de señales MPEG TS cuando el PDW-HR1 está encendido, apague el interruptor POWER del PDW-HR1 y vuélvalo a encender.

Especificaciones

General

Alimentación y consumo
+5,8 V, 0,1 A
+3,3 V, 0,7 A
+2,5 V, 0,5 A
(La alimentación se suministra desde el dispositivo que meta.)

Dimensiones (An×Al)
102 × 86 mm ($4^1/_8$ × $3^1/_2$ pulg.)

Peso: Aprox. 54 g (1,9 oz.)

Formatos de secuencia

Código de vídeo

DVB-ASI	MPEG-2 MP@HL
	MPEG-2 MP@H-14
i.LINK	MPEG-2 MP@H-14

Resolución de vídeo/frecuencia de sistema

1440 × 1080	59,94i, 50i, 29,97P, 25P
1920 × 1080	59,94i, 50i, 29,97P, 25P
1280 × 720	59,94P, 50P

Rango de selección de la velocidad de bits

15,00 Mbps a 43,25 Mbps (en pasos de 0,01 Mbps)

Sonido

MPEG-1 Capa 2	2 canales, 48 kHz, 384 kbps
MPEG-2 Capa 2	4 canales, 48 kHz, 384 kbps

Accesorios suministrados

Tornillo de ajuste (4)
Guía de funcionamiento e instalación (1)
Manual de instalación (1)

El diseño y las especificaciones están sujetos a modificación sin previo aviso.

Nota
Verifique siempre que esta unidad funciona correctamente antes de utilizarlo. SONY NO SE HACE RESPONSIBLE POR DAÑOS DE NINGÚN TIPO, INCLUYENDO PERO NO LIMITADO A LA COMPENSACIÓN O PAGO POR LA PÉRDIDA DE GANANCIAS PRESENTES O FUTURAS DEBIDO AL FALLO DE ESTA UNIDAD, YA SEA DURANTE LA VIGENCIA DE LA GARANTÍA O DESPUÉS DEL VENCIMIENTO DE LA GARANTÍA NI POR CUALQUIER OTRA RAZÓN.

机型名称：MPEG TS 卡
使用产品前请仔细阅读本书，并请妥善保管。

关于旧产品的处理
请不要将旧的产品与一般的生活垃圾一同弃置。
正确弃置旧的产品有助于避免对环境和人类健康造成潜在的负面影响。
具体处理方法请遵循当地的规章制度。

防护措施

如果本机安装不正确，可能由于火灾、触电或其它意外事故导致人员伤害或外围项目损坏。为了避免此类风险，安装应该由专业技术人员进行。

致安装本机的技术人员

请遵照随本机附带的 INSTALLATION MANUAL（安装手册）进行安装。

注意

确保在安装本卡前关闭 PDW-HR1 或 XDS 系列设备电源。

概述

PDBK-202 MPEG TS 卡 （以下称为 “本卡”）是安装在 Sony PDW-HR1 专业光盘现场编辑工作站或 XDS 系列专业介质工作站上的选购卡。
以下为本卡的主要特点。

在 PDW-HR1 上安装本卡，您可以输入 MPEG TS [1] 信号（符合 IEEE 1394，隔行或逐行扫描）与 HDV [2] 1080i [3] 格式兼容，并将这些信号记录在 XDCAM 专业光盘上。
您也可以播放 XDCAM 专业光盘并输出 MPEG TS 信号 （符合 IEEE1394，隔行或逐行扫描）与 HDV 1080i 格式兼容和 DVB-ASI TS 信号。
若在 XDS 系列设备上安装本卡，则允许 DVB-ASI TS 信号输入该设备或从该设备输出。

注意

XDS 系列设备不支持 i.LINK。

1) MPEG TS：MPEG-2 传送流包含 MPEG 视频、MPEG 音频和控制信息。这是 HDV 设备的标准界面。
2) HDV 和 HDV 是 Sony 公司和 JVC 公司的注册商标。
3) HDV 1080i：有关如何在 DV 磁带上记录 HD 信号，请参见与“HDV 1080i 标准”兼容的设备。支持 HDV 1080/59.94i 或 1080/29.97P 和 HDV 1080/50i 或 1080/25P。

关于操作说明

请参照欲安装本卡的设备 （以下称为 “目标设备”）的操作手册。
PDW-HR1：第一版
XDS-1000：第一版 （修订 1）
XDS-PD1000/PD2000：第一版

当本卡已经安装到 PDW-HR1 或 XDS 系列设备中时，下列补充信息要添加到上述说明书中。

目标设备为 PDW-HR1 时

注意

- 本卡不能记录 DV 信号。
- 当视频格式为 720P 时，不输出 i.LINK (TS)。
- 若用与PDW-HR1相连的非线性编辑器编辑材料后，要将材料再写入至 PDW-HR1 光盘，则将功能菜单 HOME 页面上的 F2: PB/EE 设置为 “EE”。
- 要将材料从 PDW-HR1 上传到非线性编辑器，请将功能菜单 HOME 页面上的 F2: PB/EE 设置为 “PB”。

检查软件版本

检查以确保 PDW-HR1 的软件版本为 2.0 版更高版本， XDS 系列设备的软件版本为 1.1 版或更高版本。

可通过维护菜单项目 M30: SOFTWARE VERSION 检查软件版本。有关详情，请参见目标设备操作手册中的“维护菜单”部分。

如果本卡和目标设备的软件版本不匹配

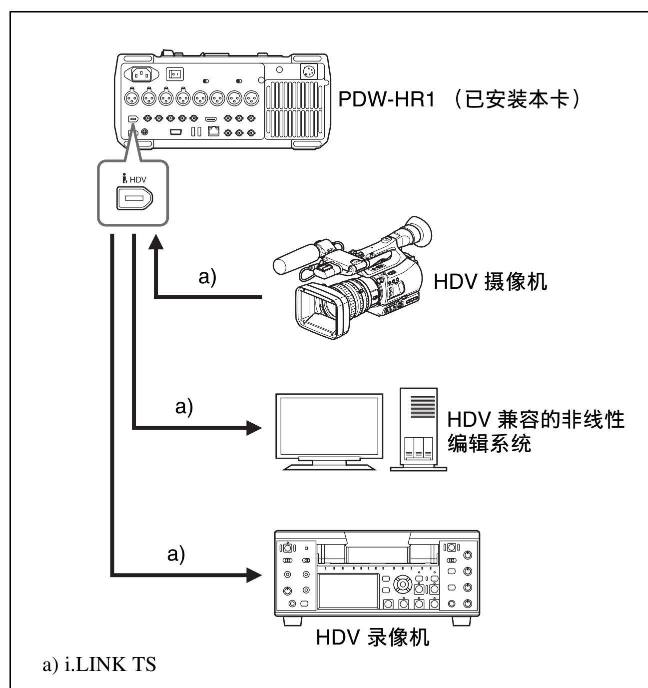
将本卡安装到目标设备上后初次打开电源时，可能会出现错误代码 “ERROR 95-119”或 “ERROR 95-419”。这种现象并不是故障。
请在装有本卡的目标设备上执行设备更新步骤，将软体组件更新到最新版本。
这会同时更新目标设备和本卡。

有关软件更新的详情，请联系您的 Sony 经销商或 Sony 服务代表。

系统配置示例

下图所示为系统示例。

i.LINK TS 输入 / 输出使用的示例 （仅 PDW-HR1）



注意

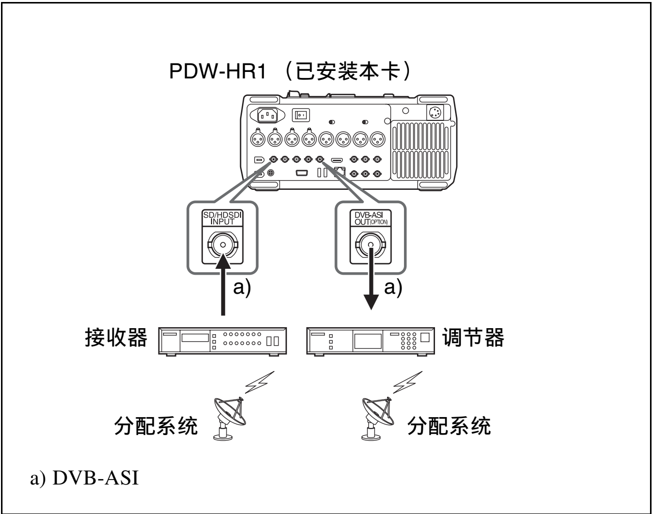
用 i.LINK 电缆连接 HDV 摄像机或 HDV 录像机之前，请通过 i.LINK 接口设置摄像机或录像机输入 / 输出 HDV 信号。

有关 i.LINK 接口设置的详情，请参见 HDV 摄像机或 HDV 录像机的使用说明书。

CS

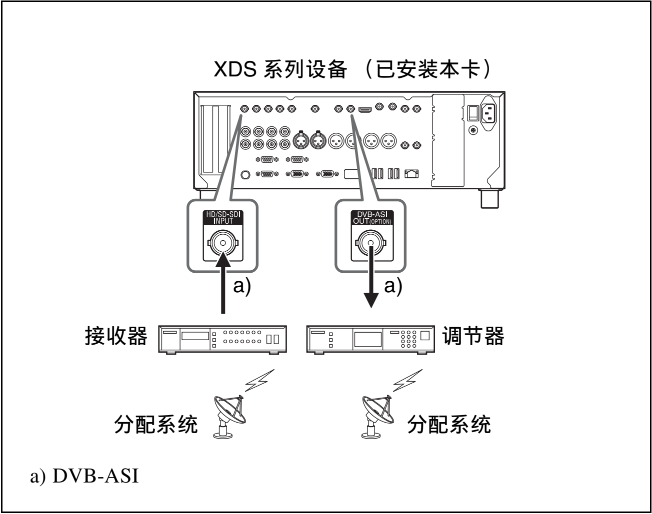
DVB-ASI 输入 / 输出使用的示例

目标设备为 PDW-HR1 时



a) DVB-ASI

目标设备为 XDS 系列设备时



a) DVB-ASI

输入 DVB-ASI TS 信号

使用目标设备的 DVB-ASI TS 信号输入接口 *（参见上面的图）*。
PDW-HR1：SD/HDSDI INPUT 接口
XDS 系列设备：HD/SD-SDI INPUT 接口

支持的 DVB-ASI TS 输入信号（仅 PDW-HR1）
仅支持选配 XDCAM 设备（如 HDCA-702）输出的支持 MPEG-2 传送流传输的 DVB-ASI TS 信号。

菜单设置
设置下列项目。

目标设备为 PDW-HR1 时

项目	设置
功能菜单 P1 VIDEO 页面上的 V INPUT	DVB-ASI
设置菜单项目 926 的子项目 TS i.LINK MODE	**HDV**：将 PROGRAM NUMBER 设置为 “00100”工厂预设值）。 **Manual**：可将 PROGRAM NUMBER 设置为任意节目号。 **注意** 在 720P 系统上该项不会出现。
设置菜单项目 926 的子项目 PROGRAM NUMBER	将 TS i.LINK MODE 设置为 “Manual”并指定节目号（1 至 65535 (FFFFh)）。

目标设备为 XDS 系列设备时

项目	设置
功能菜单 P1 INPUT 页面上的 F2: V INPUT	DVB-ASI
设置菜单项目 926 的子项目 I/O MODE	设置 DVB-ASI 输入 / 输出。 **input [in]**：固定为输入模式 **output [out]**：固定为输出模式
设置菜单项目 926 的子项目 TS MODE	选择 TS 模式。（仅 59.94i/ 29.97P/50i/25P 模式）。 **HDV:** HDV 模式 **Manual [manu]:** 编码率模式
设置菜单项目 926 的子项目 PROGRAM NUMBER	将 TS MODE 设置为 “Manual”，并指定节目号（十进制）。

- 如果将功能菜单P1 VIDEO页面上的V INPUT设置为“DVB-ASI”则 P2 AUDIO 页面上的 A1 INPUT 至 A4 INPUT 也都会自动设置为 “DVB-ASI”。
- 通过设置菜单项目 926 的子项目 PROGRAM NUMBER 指定节目号后，就可以从包含多道复合节目的 DVB-ASI TS 信号中选择和接收指定的节目。

使用叠加到 DVB-ASI TS 信号中的元数据

根据元数据类型，进行如下所示的设置。

元数据类型	设置
时间代码 / 用户位	**目标设备为 PDW-HR1 时** **INT/EXT/SDI 开关**：EXT 或 SDI 目标设备的内部时间代码发生器与包含在 TS 信号中的时间代码数据同步。
	对于 XDS 系列设备 当功能菜单 TC 页面中的 TCG 设置为 “EXT”或 “SDI”时，内部时间代码发生器与 TS 信号所包含的时间代码数据同步。
基本标记	这些都是自动记录的，没有任何特别设置。 对于 PDW-HR1，要检查设置了基本标记的像帧，可显示章节缩略图屏幕。

元数据类型	设置
剪辑名称 （仅 PDW-HR1）	**设置菜单项目 036 的子项目 AUTO NAMING**：ext 剪辑名称在记录开始点记录在 TS 信号中。即使记录时更改了 TS 信号中的剪辑名称，也不会反应剪辑名称的更改。
UMID	这是自动记录的，没有任何特别设置。

注意

在上面所列元数据类型中，基本标记信息传输比剪辑名称传输具有更高优先级。如果要传送的基本标记信息太多，有时可能需要传送剪辑名称数据。

输出 DVB-ASI TS 信号

对于 PDW-HR1，使之进入播放模式。
对于 XDS 系列设备，将设置菜单项目 926 DVB-ASI SETTING 的 I/O MODE 设置为 “output”。

将元数据叠加到 DVB-ASI TS 输出信号中

将设置菜单项目 926 的子项目 META PACKET OUT 设置为 “on”。
在正常速度播放过程中，记录在光盘上的元数据与视频和音频数据一道传送。
在播放静止图像和变速播放时，只传送时间代码。不传送其他元数据。

注意

对于 PDW-HR1，如果将设置菜单项目 926 的子项目 TS i.LINK MODE 设置为 “HDV”，则不传送除时间代码数据外的元数据。
对于 XDS 系列设备，如果将设置菜单项目 926 的子项目 TS MODE 设置为 “HDV”，则不传送除时间代码数据外的元数据。

附加的功能菜单项目

目标设备为 PDW-HR1 时

当本卡安装到 PDW-HR1 中时，下表中带有下划线的设置出现在功能菜单中。

有关功能菜单操作的详情，工作请参见 PDW-HR1 操作手册中的第 3 章 “准备”。

P1 VIDEO 页

项目	设置
F1: V INPUT	选择视频输入信号。 **HDSDI**：HDSDI 信号 **SDSDI**：SDSDI 信号 **CMPST**：复合信号 **i.LINK**：i.LINK 信号 **DVB-ASI**：DVB-ASI 信号 **SG**：来自内部信号发生器的测试信号

注意

- 当选择“i.LINK”时，不保证 PDW-HR1 在 E-E 模式中的 HDSDI 输出和 SDSDI 输出。在 REC 模式或 E-E 模式中不输出 DVB-ASI TS 信号。
- 如果选择 “DVB-ASI ”，则不输出 DVB-ASI TS 信号和 i.LINK TS 信号，无论 PDW-HR1 的操作模式如何。

P2 AUDIO 页

项目	设置	
F1: AU INPUT	选择分配到音频通道 1 至 8 的音频输入信号。 **SDI**：嵌入 SDI 信号中的音频信号 **ANALOG1**：模拟 1 音频信号 **SG**：来自内部信号发生器的测试信号 **i.LINK**：i.LINK 信号 **DVB-ASI**：DVB-ASI 信号	
	子项目	
	F1: A1 INPUT (A5 INPUT)	音频通道 1 (5) 输入信号
	F2: A2 INPUT (A6 INPUT)	音频通道 2 (6) 输入信号
	F3: A3 INPUT (A7 INPUT)	音频通道 3 (7) 输入信号
	F4: A4 INPUT (A8 INPUT)	音频通道 4 (8) 输入信号

注意

如果将功能菜单 P1 VIDEO 页面上的 V INPUT 设置为 “i.LINK” 或 “DVB-ASI”，则 P2 AUDIO 页面上的 A1 INPUT 至 A4 INPUT 都会自动设置为 “i.LINK” 或 “DVB-ASI”。并且，不能将音频输入信号设置为与视频输入信号类型不同的类型。

目标设备为 XDS 系列设备时

将本卡安装在 XDS 系列设备中并将维护菜单 M22: OPTION SETTING 的 DVB-ASI 设置为 “on”时，功能菜单的 P1 INPUT 页面和 P2 INPUT 页面会添加 “DVB-ASI”。不显示 “i.LINK”。

有关 XDS 系列设备的更多信息，请参见该设备附带的操作手册中的 “功能菜单的基本操作”部分。

附加的设置菜单项目

目标设备为 PDW-HR1 时

当本卡安装到 PDW-HR1 中时，下表中的菜单项目将出现在设置菜单中。（菜单项目 036 FILE NAMING 的子项目 AUTO NAMING 添加了设置 “ext”。）
在表中的 “设置”栏中，出厂默认设置标有下划线。

有关设置菜单操作的详情，请参见 PDW-HR1 操作手册中的第 8 章 “菜单”。

项目编号	项目名称		设置
036	FILE NAMING		指定是否允许使用采用用户自定义名称的剪辑和剪辑列表文件。
	子项目		
	2	AUTO NAMING	当在子项目 “NAMING FORM”下选择 “free”时，即可随意指定剪辑名称。 **ext**：DVB-ASI 信号中的剪辑名称
831	TS OUT AUDIO MODE		选择 DVB-ASI TS 和 i.LINK TS (HDV) 信号的音频输出通道数。 **2ch**：2 通道 **4ch**：4 通道
926	DVB-ASI SETTING		设置 DVB-ASI 输出参数并指定输入 DVB-ASI 信号时要接收的节目号。
	子项目		
	1	TS i.LINK MODE	选择 TS i.LINK 模式。 **HDV**：HDV 模式 当选择此模式时，禁用 “Manual”设置。 **Manual**：编码率模式 **当视频格式为 720P 时** • 此项目不显示。 • (i.LINK) HDV TS 接口无信号输出。
	2	ENC RATE (Mbps)	设置编码率。 **25.00**：设置编码率。 **---**：当菜单项目 926 的子项目 TS i.LINK MODE 设置为 “HDV”时。 您可以在 15.00 Mbps 到 43.25 Mbps 的范围内，以 0.01 Mbps 为单位进行设置（或当按住 SHIFT 按钮时，以 0.20 Mbps 为单位）。

项目编号	项目名称		设置
926	3	RESOLUTION	选择用于 1080i 格式的水平像素数量。 **1440**：1440 当菜单项目 926 的子项目 TS i.LINK MODE 设置为 “HDV” 时，此值固定为 “1440”。 **1920**：1920 当编码率为 35.00 Mbps 或更高时，启用 1920 设置。 **注意** 当视频格式为 720P 时，此项目不显示。
	4	PROGRAM NUMBER	指定 DVB-ASI 输入 / 输出信号节目号。 **00100**：设置程序号 （1 至 65535 (FFFFh)）。 **---**：当菜单项目 926 的子项目 TS i.LINK MODE 设置为 “HDV” 时。 您可以以 1 为单位进行设置 （或当按住 SHIFT 按钮时，以 200 为单位）。
	5	OUTPUT MODE	选择传输模式。 **Packt**：包模式 **Burst**：同步模式
	6	PACKET LENGTH	选择信息包的长度。 **188 Byte**：188 字节 **204 Byte**：204 字节
	7	META PACKET OUT	指定是否输出 DVB-ASI 信号元数据包。 **off**：不输出元数据包。 **on**：输出元数据包。 **---**：当菜单项目 926 的子项目 TS i.LINK MODE 设置为 “HDV” 时。
	8	PID(PMT)	更改用于 DVB-ASI 输出的 PMT 包的 PID 值。 **0081h**：设置 PID 值。 **---**：当菜单项目 926 的子项目 TS i.LINK MODE 设置为 “HDV” 时。 可以以 1h 为单位 （或以 20h 为单位，当按下 SHIFT 按钮时）在 0030h 至 1FFEh 的范围内设置该值。 **注意** 不要设置与其它项目相同的 PID 值。
926	9	PID(PCR)	更改用于 DVB-ASI 输出的 PCR 包的 PID 值。 **0134h**：设置 PID 值。 **---**：当菜单项目 926 的子项目 TS i.LINK MODE 设置为 “HDV” 时。 可以以 1h 为单位 （或以 20h 为单位，当按下 SHIFT 按钮时）在 0030h 至 1FFEh 的范围内设置该值。 **注意** 不要设置与其它项目相同的 PID 值。
	10	PID(VIDEO)	更改用于 DVB-ASI 输出的 VIDEO 包的 PID 值。 **0810h**：设置 PID 值。 **---**：当菜单项目 926 的子项目 TS i.LINK MODE 设置为 “HDV” 时。 可以以 1h 为单位 （或以 20h 为单位，当按下 SHIFT 按钮时）在 0030h 至 1FFEh 的范围内设置该值。 **注意** 不要设置与其它项目相同的 PID 值。
	11	PID(AUDIO)	更改用于 DVB-ASI 输出的 AUDIO 包的 PID 值。 **0814h**：设置 PID 值。 **---**：当菜单项目 926 的子项目 TS i.LINK MODE 设置为 “HDV” 时。 可以以 1h 为单位 （或以 20h 为单位，当按下 SHIFT 按钮时）在 0030h 至 1FFEh 的范围内设置该值。 **注意** 不要设置与其它项目相同的 PID 值。
	12	PID(AUX1)	更改用于 DVB-ASI 输出的 AUX1 包的 PID 值。 **0815h**：设置 PID 值。 **---**：当菜单项目 926 的子项目 TS i.LINK MODE 设置为 “HDV” 时。 可以以 1h 为单位 （或以 20h 为单位，当按下 SHIFT 按钮时）在 0030h 至 1FFEh 的范围内设置该值。 **注意** 不要设置与其它项目相同的 PID 值。

项目编号	项目名称		设置
926	13	PID(AUX2)	更改用于 DVB-ASI 输出的 AUX2 包的 PID 值。 **0811h**：设置 PID 值。 **---**：当菜单项目 926 的子项目 TS i.LINK MODE 设置为 “HDV” 时。 可以以 1h 为单位 （或以 20h 为单位，当按下 SHIFT 按钮时）在 0030h 至 1FFEh 的范围内设置该值。 **注意** 不要设置与其它项目相同的 PID 值。

目标设备为 XDS 系列设备时

将本卡安装在 XDS 系列设备中时，会在该设备设置菜单系统中添加菜单项目 831 TS OUT AUDIO MODE 和 926 DVB-ASI SETTING。注意，不添加菜单项目 036。

有关 XDS 系列设备的更多信息，请参见该设备附带的操作手册中的 “设置菜单”部分。

关于 i. LINK 连接的注意事项 （仅 PDW-HR1）

- 将i.LINK电缆连接到您的电脑或PDW-HR1之前，请确保接口的方向是正确的。强行插入方向错误的接口可能会损坏此接口或 PDW-HR1。
- 在连接到PDW-HR1之前，先将i.LINK电缆连接到您的电脑。如果您先将电缆连接到 PDW-HR1，则可能会由于静电而损坏 PDW-HR1。
- 在连接或拔下与PDW-HR1和其它带有i.LINK接口的设备相连的 i.LINK 电缆前，务必先关闭 PDW-HR1 和已连接设备的电源并从插座上拔下所有电源插头。
  在未拔下电源插头时插入或拔下 i.LINK 接口可能会导致有破坏性的高压电涌从设备的 i.LINK 接口流入 PDW-HR1。
- 即使当一条单独的 i.LINK 电缆连接到本设备的另一个 i.LINK 接口上时，有破坏性的高压电涌仍然可以从已连接设备的 i.LINK 接口流入 PDW-HR1，例如，将硬盘连接到带有可提供多个接口的 i.LINK 界面卡的电脑上时。
  连接 i.LINK 电缆之前，务必关闭 PDW-HR1 和已连接电脑及其外围设备上的所有设备的电源并从插座上拔下所有电源插头。
- 在打开或关闭 PDW-HR1 的电源开关之前，请始终停止所有通过 i.LINK 界面连接的设备的操作。
- 如果在 PDW-HR1 电源打开时无法进行 MPEG TS 信号传输，请关闭 PDW-HR1 的电源开关，然后再次打开。

规格说明

一般规格

电源要求和电流功耗

	+5.8 V, 0.1 A
	+3.3 V, 0.7 A
	+2.5 V, 0.5 A
	（由目标设备供电。）
尺寸 (w/h)	102 × 86 mm
重量	大约 54 g

流格式

视频解码器

DVB-ASI	MPEG-2 MP@HL
	MPEG-2 MP@H-14
i.LINK	MPEG-2 MP@H-14

视频分辨率 / 系统频率

1440 × 1080	59.94i, 50i, 29.97P, 25P
1920 × 1080	59.94i, 50i, 29.97P, 25P
1280 × 720	59.94P, 50P

位速率选择范围

15.00 Mbps 至 43.25 Mbps （幅度为 0.01 Mbps）

音频

MPEG-1 Layer 2	2 通道， 48 kHz, 384 kbps
MPEG-2 Layer 2	4 通道， 48 kHz, 384 kbps

提供的附件

安装螺丝 (4)
操作和安装指南 (1)
安装手册 (1)

设计与技术规格如有变更恕不另行通知。

注意
在使用前请始终确认本机运行正常。
无论保修期内外或基于任何理由， SONY 对任何损坏概不负责。由于本机故障造成的现有损失或预期利润损失，不作 （包括但不限于）退货或赔偿。

For Customer in China
根据中华人民共和国信息产业部第39号令《电子信息产品污染控制管理办法》及标准中要求的“有毒有害物质或元素名称及含量”等信息，本产品相关信息请参考以下链接:
http://pro.sony.com.cn

出版日期：2011年7月